

令和2年度 泉松陵高等学校 学校評価

『 学校評価アンケート集計 』

◎ 項目

(1) 学校オリジナル・県共通 28 項目

◎ 実施日 令和2年11月24日～12月2日

◎ 集計の特徴

(1) 集計項目を精選

- ・生徒・保護者・職員のアンケートを，項目毎にまとめて表示

(2) 「評価度」の活用

- ・評価値とは，個人の評価（◎:2，○:1，△:-1，×:-2）
- ・評価度とは分布の割合から評価値の平均を算定したもの
- ・ $-2 \leq$ 「評価度」 ≤ 2 であり，2に近づくほど評価は高い

(3) 評価における比較の多元化の維持

- ・生徒・保護者・職員の比較を，①年度間，②男女間，③学年間で比較が可能

(4) 評価のグラフ化

- ・生徒・保護者・職員毎に積み立て棒グラフで視覚化

(5) 分析のコメント作成

- ・生徒・保護者・職員毎と全体の分析を簡単なコメントで表現

令和2年度 学校評価アンケート 関連事項毎 分析・考察

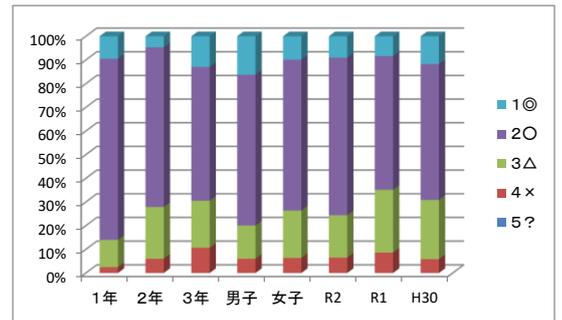
1 学ぶ意欲・学力を身につける授業

A教務

【生徒用】

1 生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。

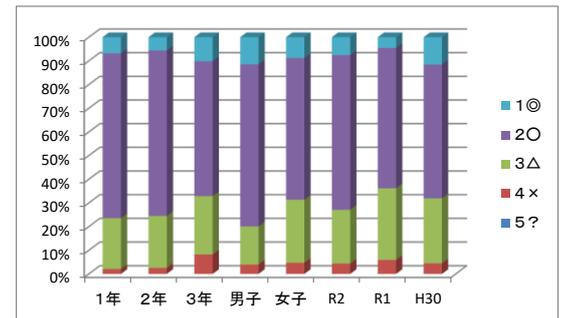
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	10%	5%	13%	16%	10%	9%	8%	12%	
2○	だいたい当てはまる	1	77%	67%	56%	64%	64%	67%	57%	57%	
3△	あまり当てはまらない	-1	12%	22%	20%	14%	20%	18%	27%	25%	
4×	当てはまらない	-2	3%	6%	11%	6%	6%	6%	9%	6%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			200	215	216	314	345	631	683	749	
評価度(-2~2)			→	0.79	0.43	0.41	0.70	0.51	0.54	0.29	0.44



【保護者用】

1 お子さんの学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。

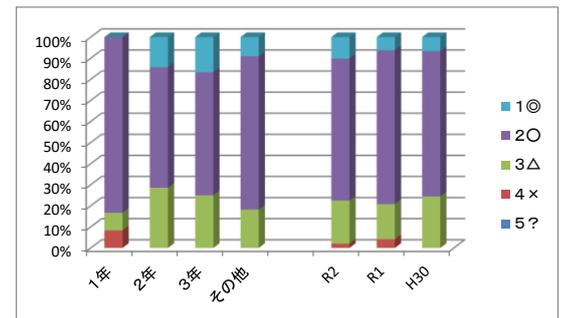
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	7%	6%	10%	11%	9%	8%	5%	12%	
2○	だいたい当てはまる	1	70%	70%	57%	68%	60%	65%	59%	56%	
3△	あまり当てはまらない	-1	21%	22%	25%	16%	27%	23%	30%	27%	
4×	当てはまらない	-2	2%	3%	8%	4%	5%	4%	6%	4%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			191	196	207	279	319	594	641	673	
評価度(-2~2)			→	0.58	0.54	0.36	0.67	0.41	0.49	0.26	0.43



【職員用】

1 生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけるような授業が行われている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	0%	14%	17%	9%		10%	6%	7%	
2○	だいたい当てはまる	1	83%	57%	58%	73%		67%	73%	69%	
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	29%	25%	18%		20%	17%	24%	
4×	当てはまらない	-2	8%	0%	0%	0%		2%	4%	0%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			12	14	12	11		49	48	45	
評価度(-2~2)			→	0.58	0.57	0.67	0.73		0.63	0.60	0.58



生徒用	今年度全体特徴	だいたい当てはまると答えた生徒が増加し、あまり当てはまらなと答えた生徒が減少している傾向が見られた。
	年度間比較	昨年の0.29より0.25ポイント高く、評価は上昇傾向が見られる。
	男女間比較	男子の方が「よく当てはまる」と回答した割合が高く、女子の方が「あまり当てはまらなと」回答した割合が高い。
	学年間比較	学年が上がるにつれ評価が下がっている。1年生での評価が高い。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と同様の傾向が見られた。
	年度間比較	昨年の0.26より0.23ポイント高く、評価は上昇傾向が見られる。
	男女間比較	男子の方が「だいたい当てはまる」と回答した割合が高く、女子の方が「あまり当てはまらなと」回答した割合が高い。
	学年間比較	学年が上がるにつれ評価が下がっている。3年生での評価が低い。
職員	今年度全体特徴	生徒・保護者の評価と職員の評価の差が縮小している。
	年度間比較	昨年度より0.03ポイント増加しているが、ほぼ横ばいの状態。
	学年間比較	3年生が最も高いが、生徒・保護者の評価は他学年に比べ低めである。
全体	今年度は生徒・保護者の評価と、職員の評価の差が縮小している。「学ぶ意欲を引き出す授業」、「学力を身に付ける授業」においてはどちらも評価が上昇したが、特に生徒・保護者の評価が高くなったためと考えられる。	

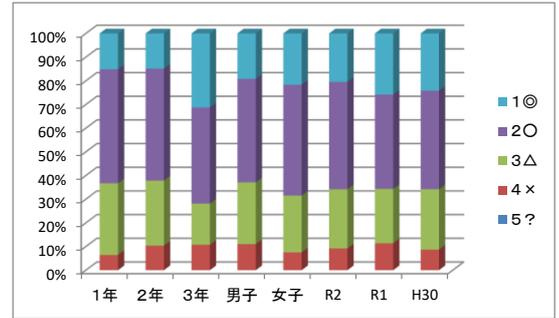
2 学業と部活動の両立

A教務

【生徒用】

2 自分は学業と部活動の両立ができています。

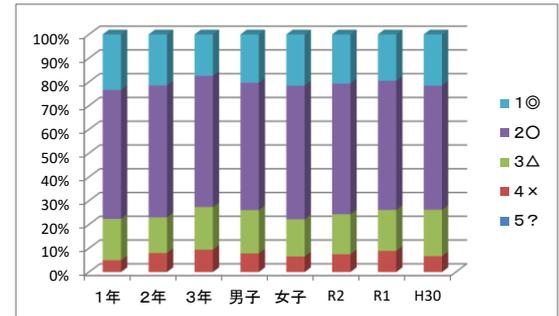
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	15%	15%	31%	19%	22%	20%	26%	24%
2○	だいたい当てはまる	1	48%	47%	41%	44%	47%	45%	40%	42%
3△	あまり当てはまらない	-1	30%	27%	17%	26%	24%	25%	23%	26%
4×	当てはまらない	-2	6%	10%	11%	11%	8%	9%	11%	9%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	222	224	318	346	664	705	760
評価度 (-2~2)			→ 0.35	0.29	0.64	0.34	0.51	0.43	0.46	0.47



【保護者用】

2 お子さんは、学業と部活動の両立ができています。

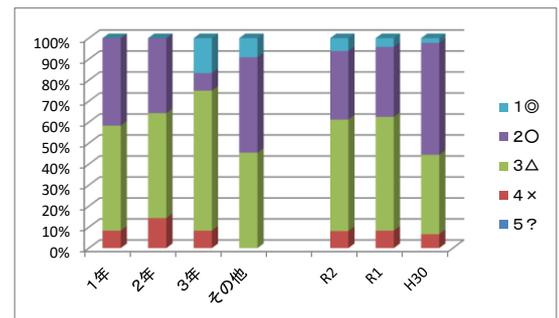
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	23%	22%	17%	20%	22%	21%	19%	22%
2○	だいたい当てはまる	1	54%	56%	55%	54%	56%	55%	54%	52%
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	15%	18%	18%	16%	17%	17%	19%
4×	当てはまらない	-2	5%	8%	9%	8%	7%	8%	9%	7%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			201	200	212	280	320	613	662	672
評価度 (-2~2)			→ 0.74	0.68	0.53	0.60	0.71	0.65	0.58	0.63



【職員用】

2 生徒は、学業と部活動の両立ができています。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	17%	9%		6%	4%	2%
2○	だいたい当てはまる	1	42%	36%	8%	45%		33%	33%	53%
3△	あまり当てはまらない	-1	50%	50%	67%	45%		53%	54%	38%
4×	当てはまらない	-2	8%	14%	8%	0%		8%	8%	7%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	48	45
評価度 (-2~2)			→ -0.25	-0.43	-0.42	0.18		-0.24	-0.29	0.07



生徒用	今年度全体特徴	全体的な特徴としては、例年とほぼ変わらず低い評価の横ばい状態が続いている。
	年度間比較	下降傾向が続いている。(0.47→0.46→0.43)
	男女間比較	女子の方が男子と比較して0.17ポイント高い評価となっている。
	学年間比較	他学年に比べ、3学年が0.64と高い評価となっている。
保護者用	今年度全体特徴	生徒とほぼ変わらず横ばい状態。ただ生徒より評価は高め。
	年度間比較	0.07ポイント昨年を上回ったが、ほぼ例年通り変わりない。
	男女間比較	女子の方が男子と比較して高い傾向が見られる。
	学年間比較	生徒と異なり1学年が0.74と最も高い評価であった。
職員	今年度全体特徴	どの学年も全体的に低い評価となり、マイナスポイントとなった。
	年度間比較	昨年度から両立できていない傾向が見られる。
	学年間比較	3学年が「よく当てはまる」「あまり当てはまらない」の割合が高い。
全体	生徒・保護者はマイナスポイントとはならなかったが、職員はすべての学年がマイナスポイントであり、職員が求める学業と部活動の両立が十分にできていないことが分かる。また、生徒・保護者と職員の評価にも乖離が見られることから、今後も学習と部活動の両立に向けた継続した指導が求められる。	

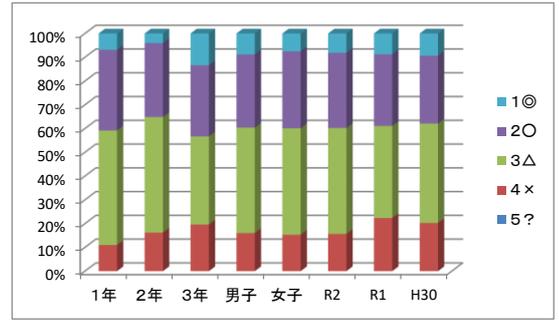
3 家庭学習の習慣

A教務

【生徒用】

3 自分は家庭学習の習慣が身に付いている。

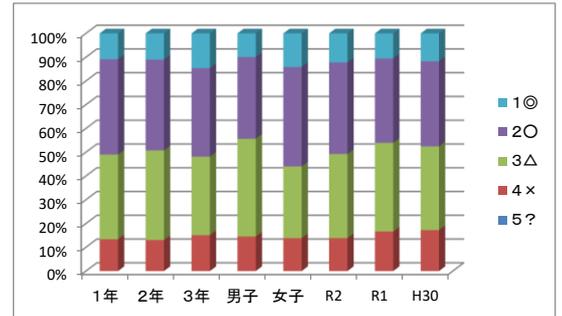
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	7%	4%	13%	9%	8%	9%	9%	
2○	だいたい当てはまる	1	34%	31%	30%	31%	32%	30%	29%	
3△	あまり当てはまらない	-1	48%	49%	37%	44%	45%	39%	42%	
4×	当てはまらない	-2	11%	16%	20%	16%	16%	22%	20%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			218	222	224	318	346	664	707	760
評価度 (-2~2)			→	-0.22	-0.42	-0.20	-0.28	-0.28	-0.36	-0.35



【保護者用】

3 お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。

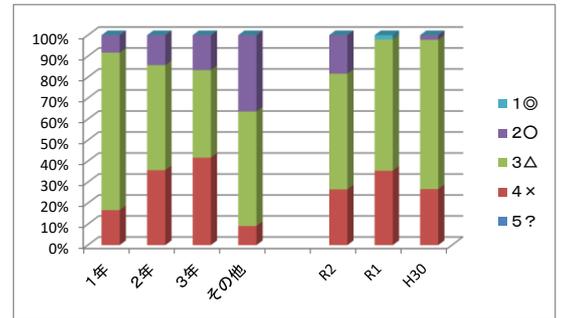
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	11%	11%	15%	10%	14%	12%	11%	12%	
2○	だいたい当てはまる	1	40%	38%	37%	34%	42%	38%	35%	36%	
3△	あまり当てはまらない	-1	36%	38%	33%	41%	30%	35%	37%	35%	
4×	当てはまらない	-2	13%	13%	15%	15%	14%	14%	17%	17%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			202	199	212	282	318	613	662	673	
評価度 (-2~2)			→	0.00	-0.04	0.03	-0.16	0.12	0.00	-0.14	-0.10



【職員用】

3 生徒は、家庭学習の習慣を身につけている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	0%		0%	2%	0%	
2○	だいたい当てはまる	1	8%	14%	17%	36%		18%	0%	2%	
3△	あまり当てはまらない	-1	75%	50%	42%	55%		55%	63%	71%	
4×	当てはまらない	-2	17%	36%	42%	9%		27%	35%	27%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			12	14	12	11		49	48	45	
評価度 (-2~2)			→	-1.00	-1.07	-1.08	-0.36		-0.90	-1.29	-1.22



生徒用	今年度全体特徴	全学年でマイナス評価であり、全体的に学習習慣が身に付いていない傾向が見られる。
	年度間比較	例年とほぼ変わりなく横ばい状態であるが下降傾向である。
	男女間比較	差異は見られない。
	学年間比較	2年生が最も高く-0.42であるが全学年を通してマイナスポイントとなっている。
保護者用	今年度全体特徴	例年とほぼ変わりなく、全体的に学習習慣が身に付いていない傾向が見られる。
	年度間比較	若干ポイントが上がったが、それでも低い評価である。
	男女間比較	男子ではマイナス評価となっている。
	学年間比較	2年生だけが-0.04という結果となった。また、全学年を通してマイナスポイントとなっている。
職員	今年度全体特徴	家庭学習習慣は身に付いていないと感じている傾向が大変強い。職員の評価が最も低くなっている。
	年度間比較	若干改善が見られる。
	学年間比較	どの学年も-1以下であり、特に3学年においては受験生であるにも関わらず、最も低い値となっている。
全体	家庭学習の習慣については、保護者だけが0.00で、生徒・職員共にマイナスポイントとなり、学習習慣は身に付いていない傾向が強く表れた。また、生徒・保護者と職員間との間にも大きな差が見られ、家庭学習習慣についての感覚のズレが浮き彫りとなった。	

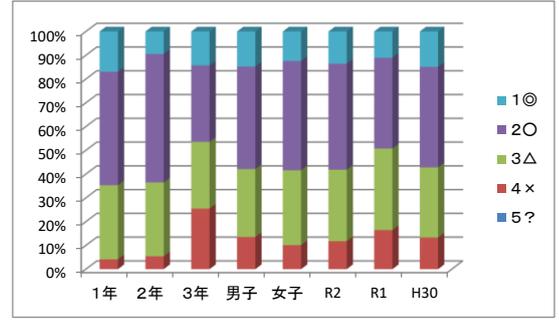
4 PTテスト

A教務

【生徒用】

4 PT(基礎学力定着)テストは、自分の基礎学力の定着に役立っている。

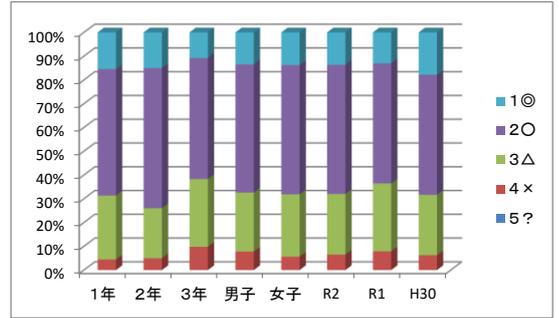
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	17%	9%	14%	15%	12%	14%	11%	15%
2○	だいたい当てはまる	1	48%	54%	32%	43%	46%	45%	38%	42%
3△	あまり当てはまらない	-1	31%	31%	28%	29%	32%	30%	34%	30%
4×	当てはまらない	-2	4%	5%	25%	14%	10%	12%	16%	13%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	222	224	318	346	664	705	759
評価度 (-2~2)			→ 0.42	0.31	-0.18	0.17	0.19	0.18	-0.07	0.16



【保護者用】

4 PT(基礎学力定着)テストは、お子さんの基礎学力の定着に役立っている。

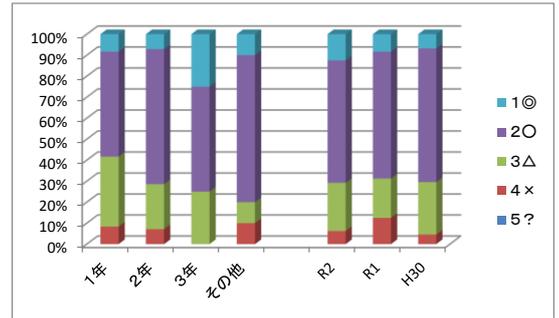
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	15%	15%	11%	13%	14%	13%	18%	
2○	だいたい当てはまる	1	53%	59%	51%	54%	54%	51%	51%	
3△	あまり当てはまらない	-1	27%	21%	29%	25%	26%	29%	25%	
4×	当てはまらない	-2	4%	5%	10%	8%	6%	7%	8%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			201	200	214	282	320	615	659	673
評価度 (-2~2)			→ 0.48	0.58	0.24	0.40	0.44	0.43	0.32	0.48



【職員用】

4 PT(基礎学力定着)テストは、生徒の基礎学力の定着に役立っている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	8%	7%	25%	10%		13%	8%	7%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	64%	50%	70%		58%	60%	64%
3△	あまり当てはまらない	-1	33%	21%	25%	10%		23%	19%	25%
4×	当てはまらない	-2	8%	7%	0%	10%		6%	13%	5%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	10		48	48	44
評価度 (-2~2)			→ 0.17	0.43	0.75	0.60		0.48	0.33	0.43



生徒用	今年度全体特徴	昨年度よりは高くなったが、0.18の評価であり基礎学力の定着に役立っていると感じている生徒が少ない。
	年度間比較	昨年度はマイナス評価となったが、少し改善が見られた。
	男女間比較	ほとんど差異は見られない。
	学年間比較	1・2年生がプラス評価なのに対して、3年生がマイナス評価となっており、学年による感じ方の違いが見られる。
保護者用	今年度全体特徴	生徒の評価に比べて、よりプラスの評価となっている。
	年度間比較	例年に比較して、今年度は若干改善が見受けられる。
	男女間比較	男女間の差は約0.04ポイント差でほとんど差異は見られない。
	学年間比較	2年生が最も高く0.58、1年生で0.48、3年生で0.24の評価である。ただ、いずれにせよ大きくプラスの評価とはなっておらず、家庭学習習慣と同様に、日頃の学習習慣が見られないことを受けた結果と推察される。
職員用	今年度全体特徴	数値的には例年同様に弱めだが、学年間による感じ方の違いが見られる。
	年度間比較	昨年度よりは若干高い結果となった。
	学年間比較	学年間では学年が下がるにつれ評価が低くなっている。特に1学年の評価が低くなっている。
全体	生徒については1年生は基礎学力の定着に概ね役立っていると評価する傾向が高いのに反して、3年生ではあまり高い評価を得ていない現状がある。一方職員の評価は逆である。学年が上がるにつれてPTへの取り組み意欲も薄れてきており、学習意欲の高まりに繋がる手立てとして、新たな取組みも検討していく必要から職員間での評価の差につながったのではないかと推察される。	

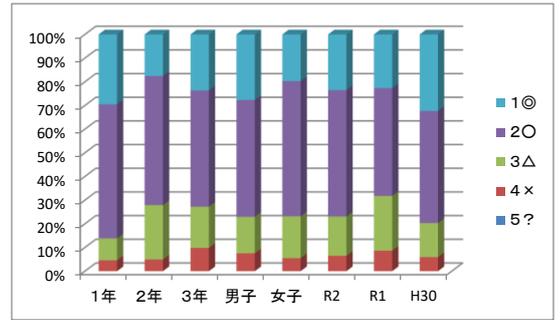
5 基本的な生活習慣の確立に関する指導

B生徒

【生徒用】

5 生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。

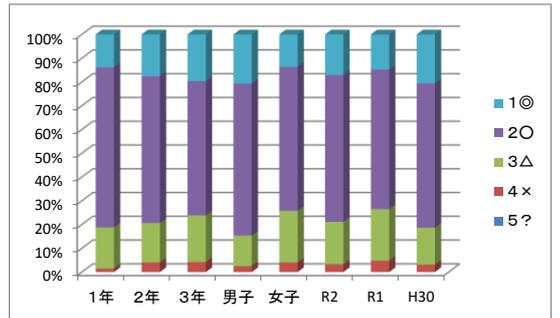
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2	R1	H30	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	29%	18%	24%	28%	20%	24%	23%	32%	
2○	だいたい当てはまる	1	57%	55%	49%	49%	57%	53%	46%	47%	
3△	あまり当てはまらない	-1	9%	23%	17%	15%	18%	17%	23%	14%	
4×	当てはまらない	-2	5%	5%	10%	8%	6%	6%	9%	6%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			217	222	224	318	345	663	705	758	
評価度 (-2~2)			→	0.97	0.57	0.59	0.74	0.68	0.71	0.50	0.86



【保護者用】

5 生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。

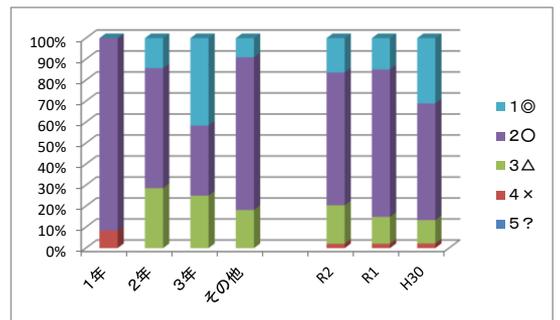
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2	R1	H30	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	14%	18%	20%	21%	14%	17%	15%	21%	
2○	だいたい当てはまる	1	67%	62%	57%	64%	61%	62%	59%	61%	
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	17%	20%	13%	22%	18%	22%	16%	
4×	当てはまらない	-2	1%	4%	4%	3%	4%	3%	5%	3%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			202	199	214	280	322	615	664	669	
評価度 (-2~2)			→	0.75	0.72	0.68	0.88	0.58	0.72	0.57	0.80



【職員用】

5 生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2	R1	H30	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	0%	14%	42%	9%		16%	15%	31%	
2○	だいたい当てはまる	1	92%	57%	33%	73%		63%	70%	56%	
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	29%	25%	18%		18%	13%	11%	
4×	当てはまらない	-2	8%	0%	0%	0%		2%	2%	2%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			12	14	12	11		49	47	45	
評価度 (-2~2)			→	0.75	0.57	0.92	0.73		0.73	0.83	1.02



生徒用	今年度全体特徴	全体としては「当てはまる」が微増している。生徒はマナーが守れていると自己評価していることがわかる。
	年度間比較	昨年度より+0.21と微増している。
	男女間比較	女子が男子より-0.66となっている。女子のほうが守れていないと自覚しているようである。
	学年間比較	1学年が2, 3学年と比べて+約0.4となっている。2学年の「よくあてはまる」が6%近く少ない。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と評価度は変わらない。
	年度間比較	大きく減少した昨年度と比べて微増している。
	男女間比較	男子に比べて女子が低い。男子の保護者のほうが、基本的な生活習慣について学校での指導に納得していることがわかる。
	学年間比較	3学年がやや低い。
職員	今年度全体特徴	年々、生徒の基本的な生活習慣が乱れてきていることに対して教員が危機感を抱いていることが表れか、減少傾向である。
	年度間比較	年度を追うごとに低下している。
	学年間比較	3学年が高いのに対して2学年が少ない。
全体	基本的な生活習慣については生徒・保護者・教員とも評価度はほとんど変わらないことから、指導の様子や意義が生徒・保護者にもおおよそ伝わっていることがうかがえる。ただ教員全体で指導し、一定の効果は認められるものの、休校期間により急学傾向が濃厚になってしまった生徒もいるという現状がある。今後も注意深く指導していく必要がある。	

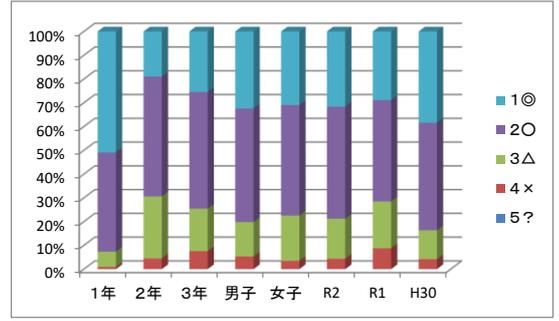
6 部活動の活発化

B生徒

【生徒用】

6 学校として、部活動は活発に行われている。

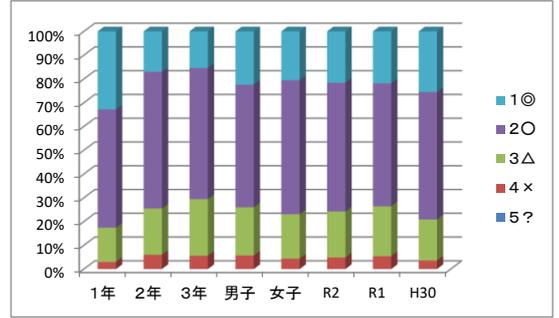
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	51%	19%	25%	32%	31%	32%	29%	38%
2○	だいたい当てはまる	1	42%	50%	49%	48%	47%	47%	43%	45%
3△	あまり当てはまらない	-1	6%	26%	18%	14%	19%	17%	20%	12%
4×	当てはまらない	-2	1%	5%	8%	5%	3%	4%	9%	4%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	222	224	318	346	664	706	758
評価度 (-2~2)			→ 1.35	0.53	0.67	0.87	0.82	0.85	0.63	1.01



【保護者用】

6 学校として、部活動は活発に行われている。

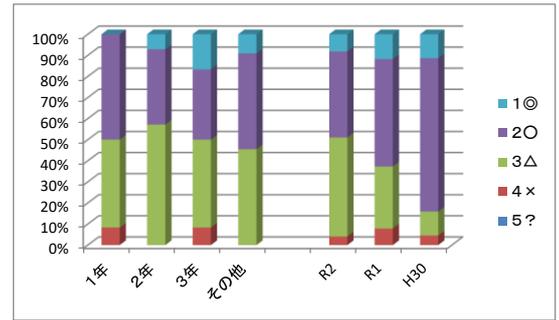
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	33%	17%	15%	22%	21%	22%	22%	25%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	58%	55%	52%	56%	54%	52%	54%
3△	あまり当てはまらない	-1	14%	20%	24%	20%	19%	19%	21%	17%
4×	当てはまらない	-2	3%	6%	6%	6%	4%	5%	5%	4%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			201	200	214	281	321	615	663	671
評価度 (-2~2)			→ 0.95	0.60	0.51	0.65	0.70	0.68	0.64	0.80



【職員用】

6 学校として、部活動は活発に行われている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	7%	17%	9%		8%	12%	11%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	36%	33%	45%		41%	51%	73%
3△	あまり当てはまらない	-1	42%	57%	42%	45%		47%	29%	11%
4×	当てはまらない	-2	8%	0%	8%	0%		4%	8%	5%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	51	44
評価度 (-2~2)			→ -0.08	-0.07	0.08	0.18		0.02	0.29	0.75



生徒用	今年度全体特徴	約8割の生徒が「当てはまる」と回答した。生徒にとって、部活動が学校生活におけるやりがいを感じる活動になっている。
	年度間比較	大きく下がった昨年度に比べると、向上した。1学年の満足度が高いためか。
	男女間比較	男子が女子より0.05高い。運動部の活動は男子のほうが活発に行われているという自覚のようである。
	学年間比較	1学年が2, 3学年に比べて高い。2学年が1番低い。転部者が多数出たことも影響しているかもしれない。
保護者用	今年度全体特徴	8割近く「当てはまる」としていることから、おおむね生徒の部活動に納得していると考えられる。
	年度間比較	昨年度より微増して76%が「当てはまる」と回答している。
	男女間比較	男子の保護者は74%、女子の保護者は77%が「当てはまる」と回答した。女子の保護者のほうが満足度が高い。
	学年間比較	「当てはまる」と答えたのは、1学年が83%、2学年が75%、3学年が70%となっている。
職員	今年度全体特徴	昨年度から大きく減少した。
	年度間比較	「当てはまる」が一昨年が84%、昨年が63%、今年度が49%と減少傾向である。
	学年間比較	2学年だけ「あまり当てはまらない」が15%多いのが特徴的である。
全体	生徒・保護者と大きな差がある。教員の理想と生徒の実態に乖離があるのかもしれない。	

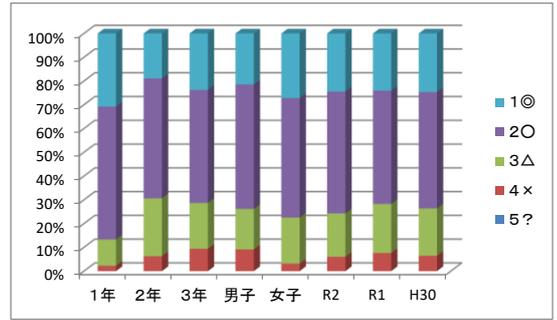
7 生徒会活動の活発化

B生徒

【生徒用】

7 学校として、生徒会活動は活発に行われている。

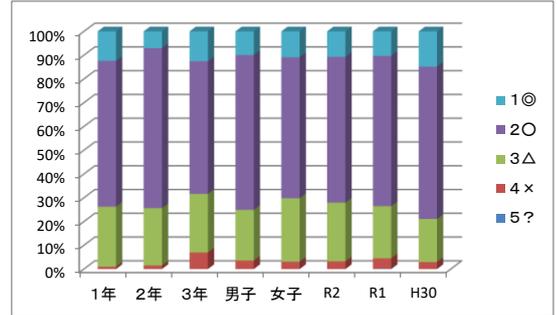
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	31%	19%	24%	21%	27%	24%	24%	25%
2○	だいたい当てはまる	1	56%	50%	48%	52%	50%	51%	48%	49%
3△	あまり当てはまらない	-1	11%	24%	19%	17%	19%	18%	21%	20%
4×	当てはまらない	-2	2%	6%	9%	9%	3%	6%	8%	6%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	222	223	317	346	663	707	758
評価度 (-2~2)			→ 1.02	0.51	0.57	0.60	0.79	0.70	0.60	0.65



【保護者用】

7 学校として、生徒会活動は活発に行われている。

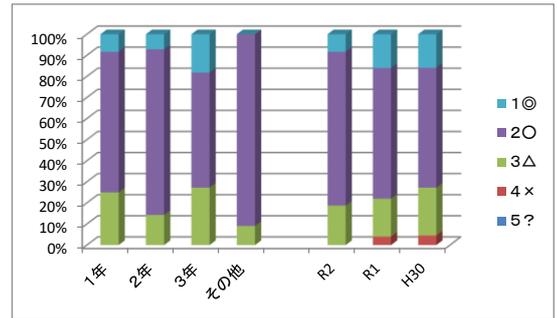
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	12%	7%	13%	10%	11%	11%	10%	15%
2○	だいたい当てはまる	1	61%	67%	56%	65%	59%	61%	63%	64%
3△	あまり当てはまらない	-1	25%	24%	25%	21%	27%	25%	22%	18%
4×	当てはまらない	-2	1%	2%	7%	4%	3%	3%	4%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			202	199	215	281	322	616	661	674
評価度 (-2~2)			→ 0.59	0.54	0.42	0.57	0.48	0.52	0.53	0.70



【職員用】

7 学校として、生徒会活動は活発に行われている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	8%	7%	18%	0%		8%	16%	16%
2○	だいたい当てはまる	1	67%	79%	55%	91%		73%	62%	57%
3△	あまり当てはまらない	-1	25%	14%	27%	9%		19%	18%	23%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	4%	5%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	11	11		48	50	44
評価度 (-2~2)			→ 0.58	0.79	0.64	0.82		0.71	0.68	0.57



生徒用	今年度全体特徴	全体的に肯定的に受け止めている。
	年度間比較	昨年度より0.1上昇した。
	男女間比較	男子より女子のほうが「当てはまる」と回答した人が多い。
	学年間比較	1年生の「当てはまる」が87%と群を抜いている。
保護者用	今年度全体特徴	特に問題は無い。
	年度間比較	昨年度からほとんど変わりが無い。
	男女間比較	男子の保護者のほうが高い。
	学年間比較	3学年の「当てはまらない」が多い。
職員	今年度全体特徴	上昇傾向にある。
	年度間比較	「当てはまる」が年度ごとに上昇している。
	学年間比較	2学年が高い。生徒会・委員会の活動状況を聞いているからか。
全体	活動の中心となっている2学年の教員の評価が高く他がそうでもないところから、せつかくの活動の状況を周りに知ってもらっていないという現状がある可能性がある。	

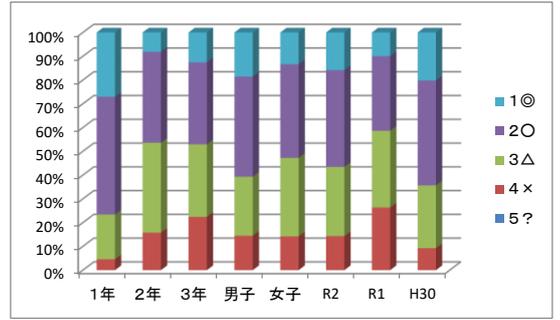
8 いじめ問題への取組

B生徒

【生徒用】

8 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。

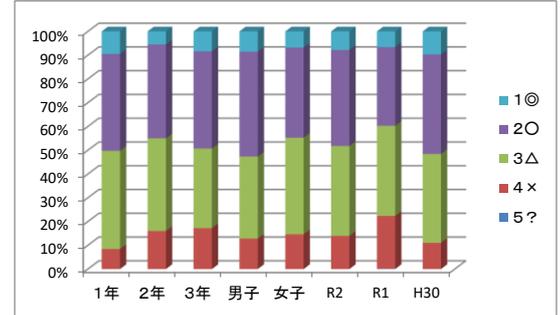
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	27%	8%	13%	19%	13%	16%	10%	20%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	38%	35%	42%	39%	41%	31%	44%
3△	あまり当てはまらない	-1	19%	38%	30%	25%	33%	29%	32%	26%
4×	当てはまらない	-2	5%	16%	22%	14%	14%	14%	26%	9%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	222	223	318	345	663	706	757
評価度 (-2~2)			→ 0.76	-0.15	-0.16	0.25	0.05	0.15	-0.34	0.40



【保護者用】

8 学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている。

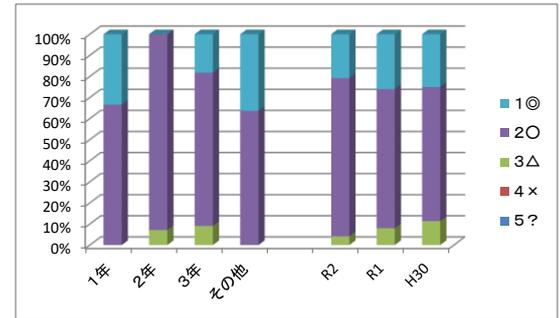
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	9%	6%	8%	9%	7%	8%	7%	10%
2○	だいたい当てはまる	1	41%	40%	41%	44%	38%	40%	33%	42%
3△	あまり当てはまらない	-1	41%	39%	33%	35%	41%	38%	38%	37%
4×	当てはまらない	-2	8%	16%	17%	13%	15%	14%	22%	11%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			201	200	215	281	322	616	667	671
評価度 (-2~2)			→ 0.01	-0.21	-0.10	0.01	-0.18	-0.10	-0.36	0.02



【職員用】

8 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	33%	0%	18%	36%		21%	26%	25%
2○	だいたい当てはまる	1	67%	93%	73%	64%		75%	66%	64%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	7%	9%	0%		4%	8%	11%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	11	11		48	50	44
評価度 (-2~2)			→ 1.33	0.86	1.00	1.36		1.13	1.10	1.02



生徒用	今年度全体特徴	いじめ問題について、各学年で初期に対応していることにより「先生に相談すれば大丈夫だ」という安心感があると思われる。
	年度間比較	昨年度の-0.34からは回復した。
	男女間比較	男子より女子の評価度が高い。
	学年間比較	1学年の評価度が2, 3学年と比べて高い。
保護者用	今年度全体特徴	
	年度間比較	昨年度より評価度が上がったが、生徒よりは戻り幅が少ない。
	男女間比較	女子の保護者の評価度のほうが低い。
	学年間比較	2学年が最も低い。
職員	今年度全体特徴	学年間で多少差はあるが、昨年度・一昨年度とあまり変わりが無い。教員としては対策を尽くしているということがわかる。
	年度間比較	今年度で評価度が微増しているが、ほぼ同じ。
	学年間比較	1学年が最も高い。
全体	生徒・保護者の評価度が増減しているのに対し、教員は一定の評価をし続けている。指導の様子やその意義が十分伝わっていないということも考えられる。課題として、いじめ対策についての各担任・学年・部活動それぞれでの取り組みを生徒・保護者にしっかり伝える、ということがある。	

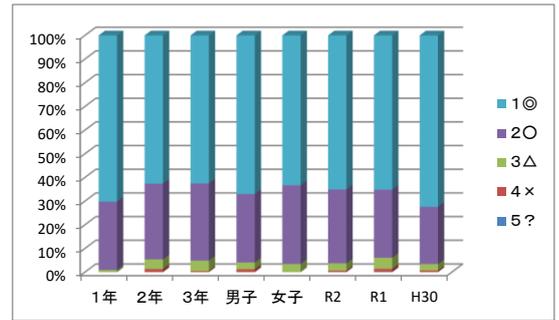
9 服装

B生徒

【生徒用】

9 自分は、正しい服装で学校生活を送っている。

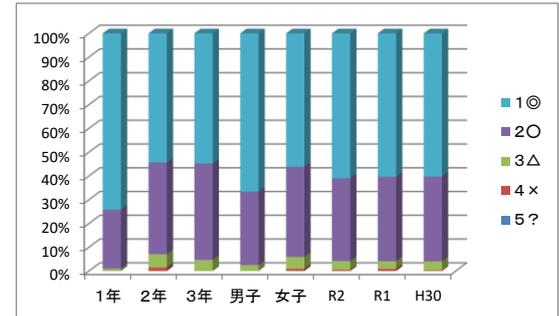
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	70%	63%	63%	67%	63%	65%	65%	72%
2○	だいたい当てはまる	1	29%	32%	33%	29%	33%	31%	29%	24%
3△	あまり当てはまらない	-1	1%	4%	4%	3%	3%	3%	5%	3%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	0%	1%	0%	1%	1%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	222	224	318	346	664	706	757
評価度 (-2~2)			→ 1.68	1.50	1.52	1.58	1.56	1.57	1.52	1.65



【保護者用】

9 お子さんは、正しい服装で学校生活を送っている。

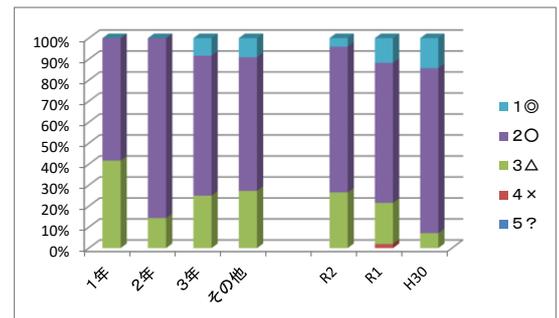
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	74%	54%	55%	67%	56%	61%	60%	60%
2○	だいたい当てはまる	1	25%	39%	41%	31%	38%	35%	36%	36%
3△	あまり当てはまらない	-1	1%	6%	5%	3%	5%	4%	3%	4%
4×	当てはまらない	-2	0%	2%	0%	0%	1%	0%	1%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			201	197	212	278	319	610	652	659
評価度 (-2~2)			→ 1.72	1.39	1.45	1.62	1.43	1.52	1.51	1.52



【職員用】

9 生徒は、正しい服装で学校生活を送っている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	8%	9%		4%	12%	14%
2○	だいたい当てはまる	1	58%	86%	67%	64%		69%	67%	79%
3△	あまり当てはまらない	-1	42%	14%	25%	27%		27%	20%	7%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	2%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	51	42
評価度 (-2~2)			→ 0.17	0.71	0.58	0.55		0.51	0.67	1.00



生徒用	今年度全体特徴	女子の制服の着こなしの乱れがあるが、そのことについては生徒が自覚していると思われる。来年度は新しい制服になることからさらに正しい着こなしを定着させることが求められる。
	年度間比較	昨年度より評価度が0.07向上している。
	男女間比較	女子のほうが評価度が0.02低い(「よく当てはまる」が5%低い)。
	学年間比較	2学年が最も低い。繰り返しの指導により、正しくない着こなしに対しては「正しくない服装である」という認識が全体に浸透しているということではないか。
保護者用	今年度全体特徴	全体的に例年と変わらない。学校の指導に対して一定の理解があると思われる。
	年度間比較	ほぼ変わらないが評価度が0.01向上した。
	男女間比較	男子の保護者のほうが評価度が高い。
	学年間比較	1学年が最も高い。
職員	今年度全体特徴	服装に関する指導を日々行っているものの浸透しないという教員側の忸怩たる思いが表れているようである。
	年度間比較	年々減少し今年度は昨年度より0.16減少している。
	学年間比較	生徒・保護者は高いのに教員は、1学年が最も低い。
全体	服装に関する指導は定期的な服装頭髪検査に加えて日常から適宜行われており、その成果が一定は見られる一方、十分に響いていない生徒もおり、生徒・保護者にその意義が理解されていない部分もあることがうかがえる。来年度は制服が変わることから、改めて正しい服装について指導を丁寧に行っていくことが求められる。	

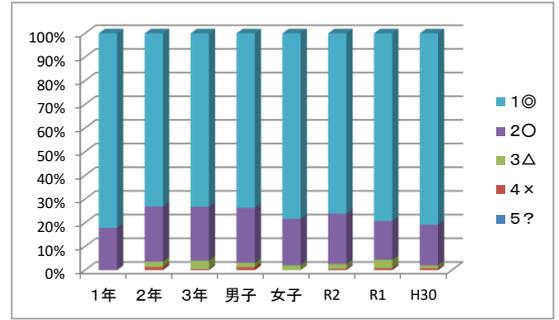
10 頭髪

B生徒

【生徒用】

10 自分は、きちんとした頭髪で学校生活を送っている。

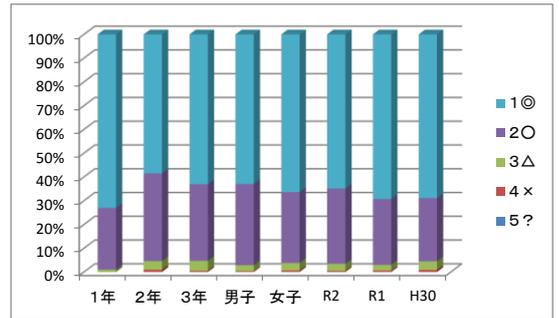
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	82%	73%	73%	74%	78%	76%	79%	81%
2○	だいたい当てはまる	1	18%	23%	23%	23%	20%	21%	16%	17%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	2%	4%	2%	2%	2%	4%	1%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	0%	1%	0%	1%	1%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	223	224	319	346	665	707	758
評価度 (-2~2)			→ 1.82	1.65	1.65	1.66	1.74	1.70	1.70	1.76



【保護者用】

10 お子さんは、きちんとした頭髪で学校生活を送っている。

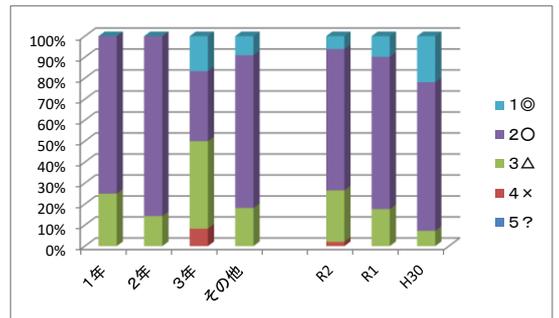
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	73%	58%	63%	63%	66%	65%	69%	69%
2○	だいたい当てはまる	1	26%	37%	32%	34%	30%	32%	28%	27%
3△	あまり当てはまらない	-1	1%	4%	4%	3%	3%	3%	2%	4%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	0%	0%	1%	0%	1%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			200	195	211	278	315	606	654	662
評価度 (-2~2)			→ 1.71	1.48	1.53	1.57	1.58	1.57	1.63	1.59



【職員用】

10 生徒は、きちんとした頭髪で学校生活を送っている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	17%	9%		6%	10%	22%
2○	だいたい当てはまる	1	75%	86%	33%	73%		67%	73%	71%
3△	あまり当てはまらない	-1	25%	14%	42%	18%		24%	18%	7%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	8%	0%		2%	0%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	51	41
評価度 (-2~2)			→ 0.50	0.71	0.08	0.73		0.51	0.75	1.07



生徒用	今年度全体特徴	各学年の7割以上が「よく当てはまる」と答えている。生徒の自己評価は高い。
	年度間比較	例年と変わらない。
	男女間比較	女子のほうが高い。
	学年間比較	1学年が最も高いが、どの学年も7割以上が「よく当てはまる」と答えている。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と比べて評価度が低い。保護者からみて「適切でない」頭髪の生徒もいるということの表れか。
	年度間比較	昨年度より評価度は0.06減少した。
	男女間比較	ほぼ同じである。
	学年間比較	1学年が最も高い。
職員	今年度全体特徴	頭髪に関する指導が十分行き渡っていないという危機感をもつ教員の意識が表れているようである。
	年度間比較	昨年度より評価度が0.21減少した。
	学年間比較	1学年が最も低い。
全体	生徒の評価が高く教員の評価が低いことから、生徒に指導が十分浸透していない可能性がみえる。ひきつづき粘り強い指導が必要だと思われる。	

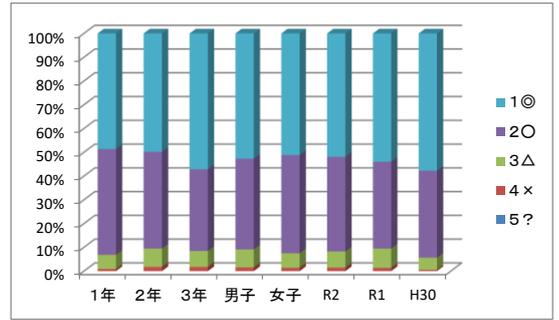
11 挨拶について

B生徒

【生徒用】

11 自分は、しっかりした挨拶ができています。

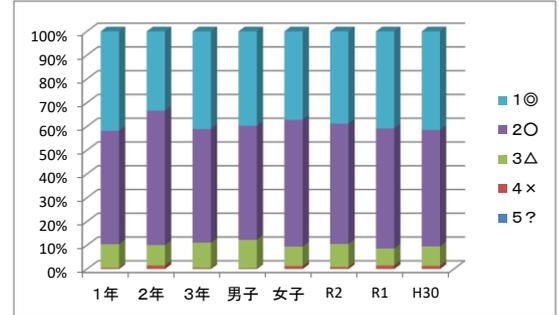
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	49%	50%	57%	53%	51%	52%	54%	58%
2○	だいたい当てはまる	1	44%	41%	34%	38%	41%	40%	37%	37%
3△	あまり当てはまらない	-1	6%	8%	7%	8%	6%	7%	8%	5%
4×	当てはまらない	-2	1%	2%	2%	2%	1%	2%	1%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	221	224	317	346	663	706	757
評価度 (-2~2)			→ 1.34	1.29	1.38	1.33	1.35	1.34	1.34	1.46



【保護者用】

11 お子さんは、しっかりした挨拶ができています。

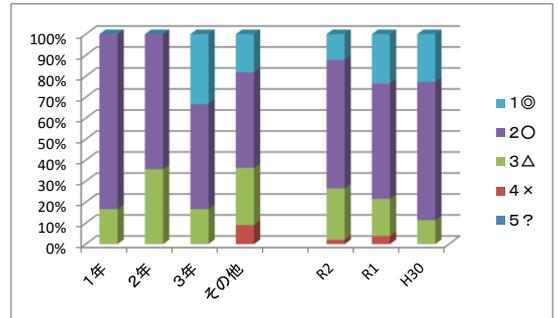
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	42%	33%	41%	40%	37%	39%	41%	41%
2○	だいたい当てはまる	1	48%	57%	48%	48%	53%	51%	51%	49%
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	9%	11%	12%	8%	10%	7%	8%
4×	当てはまらない	-2	0%	2%	0%	0%	1%	1%	2%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			201	198	207	277	317	606	659	670
評価度 (-2~2)			→ 1.20	1.12	1.18	1.15	1.17	1.17	1.22	1.21



【職員用】

11 生徒は、しっかりした挨拶ができています。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	33%	18%		12%	24%	23%
2○	だいたい当てはまる	1	83%	64%	50%	45%		61%	55%	66%
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	36%	17%	27%		24%	18%	11%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	9%		2%	4%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	51	44
評価度 (-2~2)			→ 0.67	0.29	1.00	0.36		0.57	0.76	1.00



生徒用	今年度全体特徴	ほとんどの生徒が「挨拶ができています」と自負しているようである。
	年度間比較	昨年度と同じである。
	男女間比較	女子のほうが0.02高い評価度である。
	学年間比較	3学年が最も高い。
保護者用	今年度全体特徴	生徒本人より保護者は評価度が低いのは、家では挨拶できていないということの表れか。
	年度間比較	昨年度より0.05低い評価度である。
	男女間比較	女子のほうが0.02高い評価度である。
	学年間比較	1学年が最も高い。
職員	今年度全体特徴	おおむね「挨拶はできています」と考えていることがわかる。
	年度間比較	昨年度より0.05低い評価度である。0.09低い評価度である。
	学年間比較	3学年が最も高い。「よく当てはまる」が33%である。2学年は「あまり当てはまらない」が学年間で最も高い。
全体	全体的に生徒は「挨拶をする」ということが伝統として身につけているようである。これからも継続していけるよう指導していくとよいと思われる。	

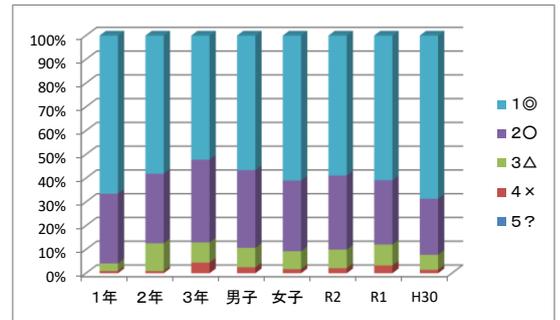
12 学校生活リズム

B生徒

【生徒用】

12 自分は、遅刻をせず、学校生活のリズムを身につけている。

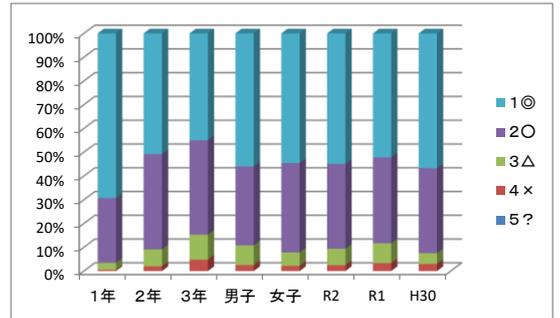
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	67%	58%	52%	57%	61%	59%	61%	69%
2○	だいたい当てはまる	1	29%	29%	35%	33%	30%	31%	27%	24%
3△	あまり当てはまらない	-1	3%	12%	8%	8%	8%	8%	9%	6%
4×	当てはまらない	-2	1%	1%	4%	3%	2%	2%	3%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	222	224	318	346	664	705	759
評価度 (-2~2)			→ 1.57	1.32	1.22	1.33	1.41	1.37	1.33	1.52



【保護者用】

12 お子さんは、遅刻をせず、学校生活のリズムを身につけている。

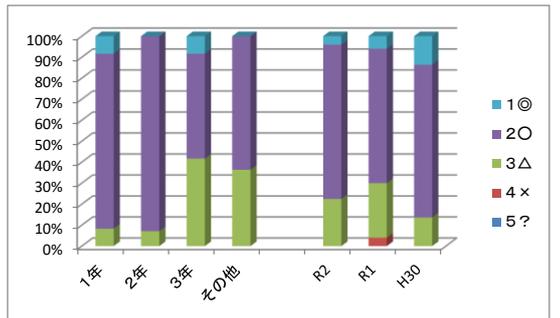
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	69%	51%	45%	56%	55%	55%	52%	57%
2○	だいたい当てはまる	1	27%	40%	40%	33%	38%	36%	36%	36%
3△	あまり当てはまらない	-1	3%	7%	11%	8%	6%	7%	8%	5%
4×	当てはまらない	-2	0%	2%	5%	3%	2%	2%	3%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			202	197	209	277	319	608	657	665
評価度 (-2~2)			→ 1.62	1.30	1.10	1.32	1.37	1.34	1.25	1.39



【職員用】

12 生徒は、遅刻をせず、学校生活のリズムを身につけている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	8%	0%	8%	0%		4%	6%	14%
2○	だいたい当てはまる	1	83%	93%	50%	64%		73%	64%	73%
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	7%	42%	36%		22%	26%	14%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	4%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	50	44
評価度 (-2~2)			→ 0.92	0.86	0.25	0.27		0.59	0.42	0.86



生徒用	今年度全体特徴	評価値1以上がほとんどである。一部の生徒について、時間を守るということを身につけさせることがこれからも求められる。
	年度間比較	昨年度より微増した。
	男女間比較	女子のほうが高い。
	学年間比較	学年があがるにしたがって減少している。気の緩みか。
保護者用	今年度全体特徴	遅刻については保護者の協力も欠かせないことから、保護者の意識を高めてもらえるよう努力が必要である。
	年度間比較	昨年度より微増した。
	男女間比較	女子の保護者のほうが高い。
	学年間比較	生徒と同様に学年があがるにしたがって減少している。
職員	今年度全体特徴	生徒・保護者と比べて全体に評価度が低い。指導が十分に伝わらないもどかしさが表れているように思われる。
	年度間比較	昨年度より微増した。
	学年間比較	3学年の「あまり当てはまらない」が42%と最も高い。
全体		多くの生徒については生活リズムをつくることができているが、一部の生徒について、休業期間を経て急学傾向が強まってしまったことも指摘できる。これからも粘り強く声がけをしていくことが必要となる。

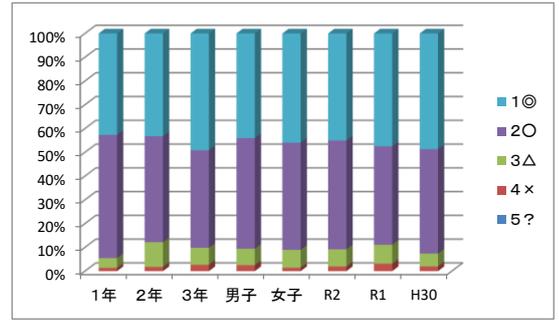
13 思いやりの心

B生徒

【生徒用】

13 自分は、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接している。

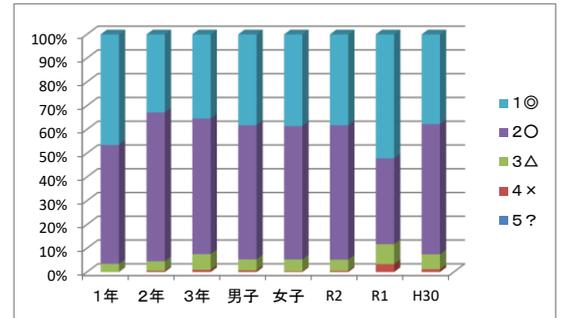
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	43%	43%	49%	44%	46%	45%	47%	49%
2○	だいたい当てはまる	1	52%	45%	41%	47%	45%	46%	41%	44%
3△	あまり当てはまらない	-1	4%	10%	7%	7%	8%	7%	8%	5%
4×	当てはまらない	-2	1%	2%	3%	3%	1%	2%	3%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	222	224	318	346	664	704	758
評価度 (-2~2)			→ 1.30	1.17	1.27	1.23	1.27	1.25	1.22	1.32



【保護者用】

13 お子さんは、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接している。

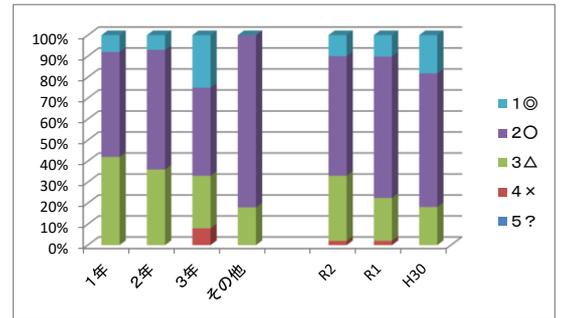
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	47%	33%	35%	38%	39%	38%	52%	38%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	63%	57%	56%	56%	57%	36%	55%
3△	あまり当てはまらない	-1	3%	4%	7%	5%	5%	5%	8%	6%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	1%	1%	0%	0%	3%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			202	198	212	280	319	612	657	668
評価度 (-2~2)			→ 1.40	1.23	1.19	1.27	1.28	1.27	1.25	1.22



【職員用】

13 生徒は、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接している。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	8%	7%	25%	0%		10%	10%	18%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	57%	42%	82%		57%	67%	64%
3△	あまり当てはまらない	-1	42%	36%	25%	18%		31%	20%	18%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	8%	0%		2%	2%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	49	44
評価度 (-2~2)			→ 0.25	0.36	0.50	0.64		0.43	0.63	0.82



生徒用	今年度全体特徴	どの学年も全体の8割以上が1以上の評価値であり、「思いやり」のある学校生活を送ることができているといえる。
	年度間比較	昨年度と比べて微増している。
	男女間比較	女子のほうがわずかに高い。
	学年間比較	どの学年もほとんど変わらない。
保護者用	今年度全体特徴	生徒も保護者もほとんど変わらない評価度であることがわかる。
	年度間比較	昨年度と比べて微増している。
	男女間比較	ほとんどかわらない評価度である。
	学年間比較	1学年がわずかに高い評価度になっている。
職員	今年度全体特徴	生徒・保護者と比べると「あまり当てはまらない」が多い。もっと指導する余地があるという認識がうかがえる。
	年度間比較	昨年度より0.2減少した評価度である。
	学年間比較	学年があがるにしたがって上昇している。
全体	生徒・保護者・教員とも、おおむねいじめのない思いやりある学校生活を送ることができているという認識があると思われる。ひきつづき、きめ細かい見守りや指導をしていくことが求められる。	

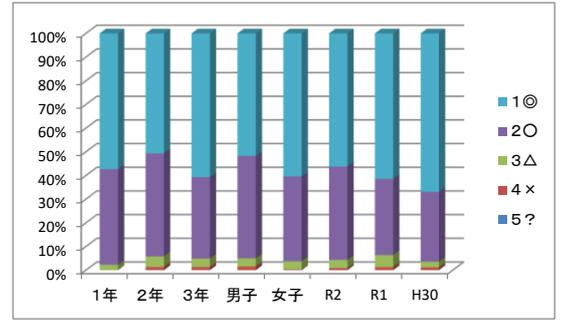
14 通学マナー

B生徒

【生徒用】

14 自分は、自転車やバスの通学マナーを守っている。

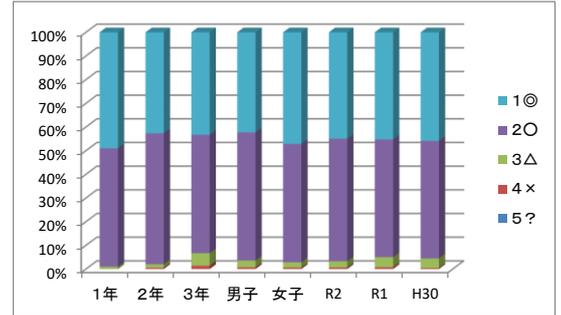
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	57%	51%	61%	52%	60%	56%	61%	67%
2○	だいたい当てはまる	1	40%	43%	34%	43%	36%	39%	32%	30%
3△	あまり当てはまらない	-1	2%	4%	4%	3%	3%	3%	5%	2%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	1%	2%	0%	1%	1%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	223	224	319	346	665	705	755
評価度 (-2~2)			→ 1.53	1.38	1.50	1.40	1.53	1.47	1.47	1.59



【保護者用】

14 お子さんは、自転車やバスの通学マナーを守っている。

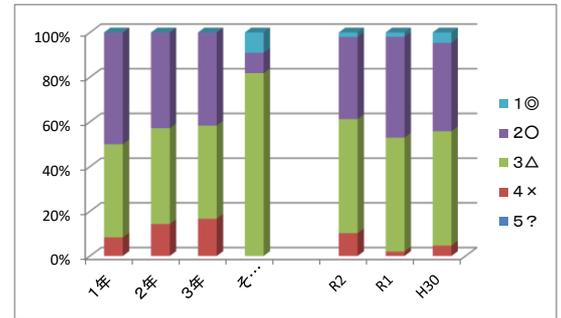
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	49%	43%	43%	42%	47%	45%	45%	46%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	55%	50%	54%	50%	52%	50%	50%
3△	あまり当てはまらない	-1	1%	2%	5%	3%	2%	3%	4%	4%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			200	197	208	277	316	605	654	667
評価度 (-2~2)			→ 1.47	1.38	1.28	1.34	1.41	1.38	1.34	1.36



【職員用】

14 生徒は、自転車やバスの通学マナーを守っている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	9%		2%	2%	5%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	43%	42%	9%		37%	45%	40%
3△	あまり当てはまらない	-1	42%	43%	42%	82%		51%	51%	51%
4×	当てはまらない	-2	8%	14%	17%	0%		10%	2%	5%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	51	43
評価度 (-2~2)			→ -0.08	-0.29	-0.33	-0.55		-0.31	-0.06	-0.12



生徒用	今年度全体特徴	ほとんどが「通学マナーを守っている」という認識を持っているようである。
	年度間比較	昨年度と同じである。
	男女間比較	女子のほうがわずかに高い。
	学年間比較	2学年の「よく当てはまる」がやや少ない。
保護者用	今年度全体特徴	生徒とあまり変わらない。
	年度間比較	昨年度より評価度は微増している。
	男女間比較	女子の保護者のほうが評価度がやや高い。
	学年間比較	1学年の保護者の評価度が最も高い。
職員	今年度全体特徴	生徒・保護者と比べてずっと低い。
	年度間比較	昨年度より評価度が下がった。
	学年間比較	学年があがるにしたがって評価度は下がる。
全体	生徒は通学マナーについての意識が低いようである。通学マナーに関する集会等を継続し、どのように振る舞うのが適切かを指導していく必要がある。	

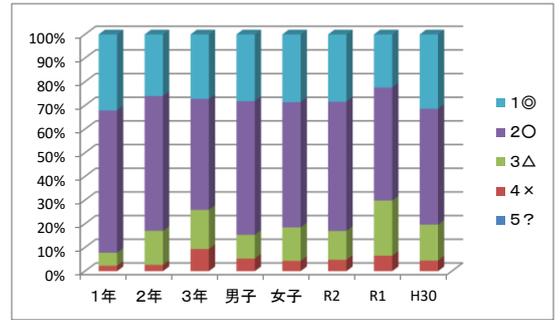
15 進路目標の明確化に向けた適切な指導

C進路

【生徒用】

15 生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

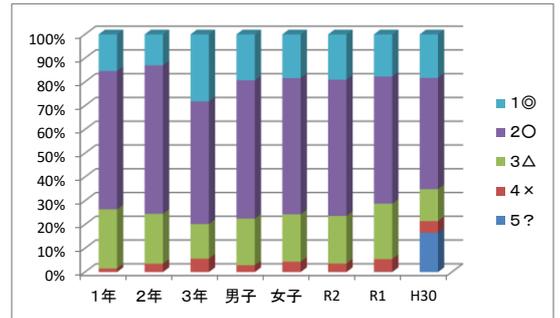
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	32%	26%	27%	28%	29%	28%	22%	31%
2○	だいたい当てはまる	1	60%	57%	47%	56%	53%	55%	48%	49%
3△	あまり当てはまらない	-1	6%	14%	17%	10%	14%	12%	23%	15%
4×	当てはまらない	-2	2%	3%	9%	5%	4%	5%	7%	4%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	223	224	319	346	665	704	758
評価度 (-2~2)			→ 1.14	0.89	0.66	0.92	0.87	0.90	0.56	0.88



【保護者用】

15 お子さんの進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

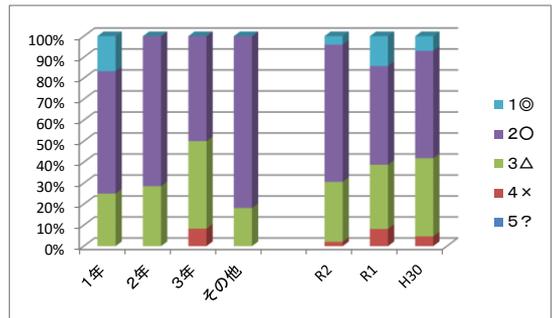
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	15%	13%	28%	19%	18%	19%	18%	18%
2○	だいたい当てはまる	1	58%	63%	52%	58%	57%	57%	53%	47%
3△	あまり当てはまらない	-1	25%	21%	15%	20%	20%	20%	23%	13%
4×	当てはまらない	-2	1%	4%	6%	3%	4%	4%	5%	5%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	17%
人数計			201	200	213	280	321	614	660	760
評価度 (-2~2)			→ 0.61	0.61	0.82	0.71	0.65	0.68	0.55	0.72



【職員用】

15 生徒の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	17%	0%	0%	0%		4%	14%	7%
2○	だいたい当てはまる	1	58%	71%	50%	82%		65%	47%	51%
3△	あまり当てはまらない	-1	25%	29%	42%	18%		29%	31%	37%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	8%	0%		2%	8%	5%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	49	43
評価度 (-2~2)			→ 0.67	0.43	-0.08	0.64		0.41	0.29	0.19



生徒用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」の割合が83%と昨年を大きく上回っている。
	年度間比較	昨年度と比較し、「あまり当てはまらない」、「当てはまらない」の割合がほぼ半減している。
	男女間比較	大きな差は見られない。
	学年間比較	学年が上がるにつれて「あまり当てはまらない」、「当てはまらない」の割合が多くなっている。
保護者用	今年度全体特徴	昨年度と大差はない。
	年度間比較	大きな差は見られない。
	男女間比較	大きな差は見られない。
	学年間比較	「よく当てはまる」と解答した3年生保護者が28%と他学年を大きく上回っている。
職員	今年度全体特徴	2,3年生の職員およびその他で「よく当てはまる」の回答が0%である。さらに3年生職員の「当てはまらない」の回答が他学年の0%に対して8%となっている。
	年度間比較	「だいたい当てはまる」の回答が大幅に増えた。(「よく当てはまる」、「あまり当てはまらない」が減った。)
	学年間比較	1,2年生職員は「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」と70%以上が回答しているが、3年生職員の回答は50%と1,2年生と比較して低い。(3年生職員は「あまり当てはまらない」、「当てはまらない」の回答も50%)
全体	生徒は進路目標の明確化に対しては適切な指導が行われていると感じてるようである。しかし、3年生の職員においては進路決定の学年にも関わらず、半数の職員が適切な指導が行われていないと感じているようであり、原因分析を行う必要がある。分析結果をもとに職員・生徒・保護者の進路指導に対する意識が統一できるように改善を行う必要がある。	

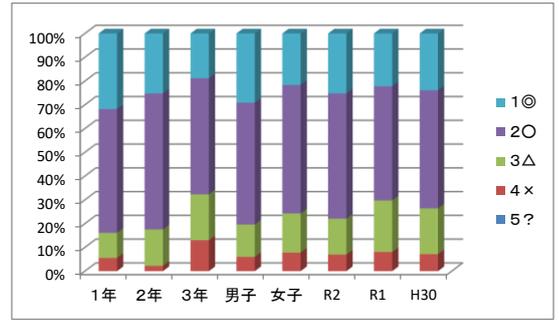
16 模試

C進路

【生徒用】

16 模擬試験は、生徒にとって大学受験に対応できる学力の養成に役立っている。

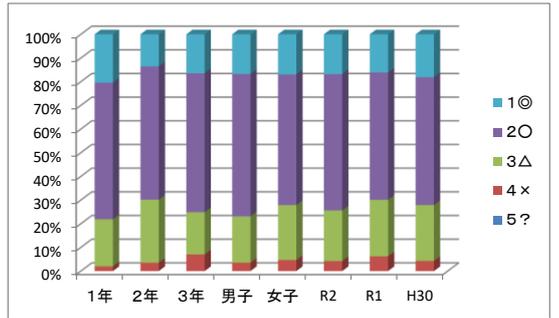
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	32%	25%	19%	29%	22%	25%	22%	24%	
2○	だいたい当てはまる	1	52%	57%	49%	51%	54%	53%	48%	50%	
3△	あまり当てはまらない	-1	11%	15%	19%	14%	16%	15%	22%	19%	
4×	当てはまらない	-2	6%	2%	13%	6%	8%	7%	8%	7%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			217	222	223	316	346	662	706	757	
評価度 (-2~2)			→	0.94	0.88	0.41	0.84	0.65	0.74	0.55	0.64



【保護者用】

16 模擬試験は、生徒にとって大学受験に対応できる学力の養成に役立っている。

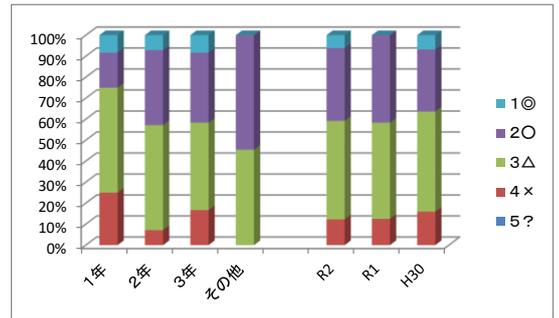
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	20%	14%	16%	17%	17%	17%	16%	18%	
2○	だいたい当てはまる	1	58%	56%	59%	60%	55%	58%	54%	54%	
3△	あまり当てはまらない	-1	20%	27%	18%	20%	23%	21%	24%	24%	
4×	当てはまらない	-2	2%	4%	7%	4%	5%	4%	6%	4%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			201	199	213	281	319	613	658	674	
評価度 (-2~2)			→	0.75	0.50	0.60	0.67	0.56	0.61	0.50	0.58



【職員用】

16 模擬試験は、生徒にとって大学受験に対応できる学力の養成に役立っている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	8%	7%	8%	0%		6%	0%	7%	
2○	だいたい当てはまる	1	17%	36%	33%	55%		35%	42%	30%	
3△	あまり当てはまらない	-1	50%	50%	42%	45%		47%	46%	48%	
4×	当てはまらない	-2	25%	7%	17%	0%		12%	13%	16%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			12	14	12	11		49	48	44	
評価度 (-2~2)			→	-0.67	-0.14	-0.25	0.09		-0.24	-0.29	-0.36



生徒用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」の約80%と多くの生徒が模試について前向きに捉えている。
	年度間比較	評価度が過去2年と比較して高くなっている。
	男女間比較	大きな差は見られない。
	学年間比較	3年生の評価度が低くなっているが、1,2年生の評価度は高い。
保護者用	今年度全体特徴	例年と同様の結果となっている。
	年度間比較	昨年度よりは評価度が高くなっている。
	男女間比較	大きな差は見られない。
	学年間比較	2年生の「あまり当てはまらない」、「当てはまらない」の回答の割合が30%を超えており、他学年より評価が低くなっている。
職員	今年度全体特徴	昨年度までと変わらず、「あまり当てはまらない」、「当てはまらない」の割合が約6割である。
	年度間比較	「よく当てはまる」が昨年の0%から6%へ上昇したがその分、「だいたい当てはまる」が減少している。
	学年間比較	特に1年生の75%の職員が「あまり当てはまらない」、「当てはまらない」と答えており、他学年を大きく上回っている。
全体	12月時点で全員受験の模試が行われていない今年度の1,2年生の評価はスタディサポートを実施したことに対する評価として考えられるが、スタサポや模試に対する意識が高い生徒が多数いることが読み取れる。しかし、模試の予習・復習等の活用において不十分であると職員の評価から読み取れる。	

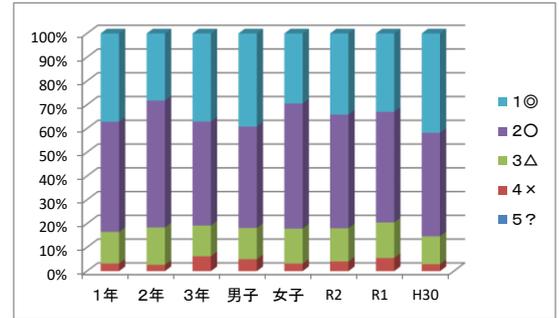
17 災害・非常時の避難方法や連絡方法

F総務

【生徒用】

17 生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

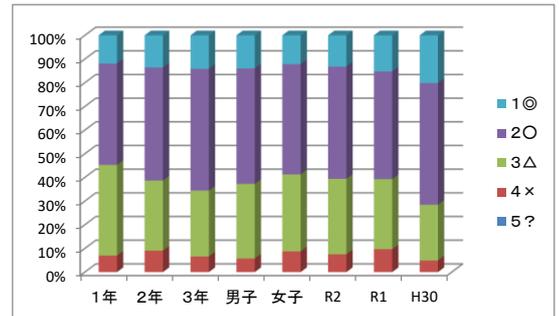
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	37%	28%	37%	39%	29%	34%	33%	42%
2○	だいたい当てはまる	1	46%	53%	44%	43%	53%	48%	47%	44%
3△	あまり当てはまらない	-1	13%	16%	13%	13%	15%	14%	15%	12%
4×	当てはまらない	-2	3%	3%	6%	5%	3%	4%	6%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	223	224	319	346	665	707	756
評価度 (-2~2)			→ 1.01	0.89	0.92	0.98	0.90	0.94	0.86	1.10



【保護者用】

17 保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

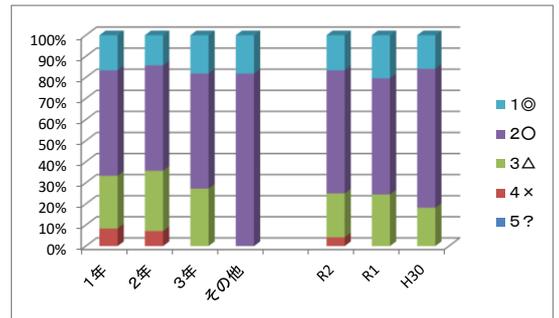
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	12%	14%	14%	14%	12%	13%	15%	20%
2○	だいたい当てはまる	1	43%	48%	51%	49%	47%	47%	45%	51%
3△	あまり当てはまらない	-1	38%	30%	28%	32%	33%	32%	30%	24%
4×	当てはまらない	-2	7%	9%	7%	6%	9%	8%	10%	5%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			201	199	212	279	320	612	662	675
評価度 (-2~2)			→ 0.14	0.27	0.39	0.34	0.21	0.27	0.27	0.58



【職員用】

17 生徒・保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	17%	14%	18%	18%		17%	20%	16%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	50%	55%	82%		58%	55%	66%
3△	あまり当てはまらない	-1	25%	29%	27%	0%		21%	24%	18%
4×	当てはまらない	-2	8%	7%	0%	0%		4%	0%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	11	11		48	49	44
評価度 (-2~2)			→ 0.42	0.36	0.64	1.18		0.63	0.71	0.80



生徒用	今年度全体特徴	80%の生徒が「避難方法や連絡方法は伝えられている」と認識している。
	年度間比較	昨年度よりも1・2を回答している生徒は2ポイント増加している。(86%→80%→82%)
	男女間比較	大差はない。
	学年間比較	大差はない。
保護者用	今年度全体特徴	60%の保護者が「避難方法や連絡方法は伝えられている」と認識している。
	年度間比較	1・2を回答している保護者は、昨年度と同等である。(71%→60%→60%)
	男女間比較	女子生徒保護者の認識が若干低い。(男子63%, 女子59%)
	学年間比較	学年が上がるにつれて、保護者の認識が高くなる傾向が見られる。(1年55%, 2年62%, 3年65%)
職員	今年度全体特徴	75%の教職員が「避難方法や連絡方法は伝えられている」と認識している。
	年度間比較	1・2を回答している教職員は、昨年度と同等である。(82%→75%→75%)
	学年間比較	1・2年には大差は見られないが、3年では2年よりも9ポイント高くなっている。(1年67%, 2年64%, 3年73%)
全体	今年度は、コロナの影響で防災避難訓練を一度しか実施できず、非常時の避難方法などの防災教育全般に不安が残ってはいたが、リーフレットを作成、配布したことで、避難方法や連絡方法などの周知に役立っていると考えられる。更に、避難訓練では、本校の立地条件や過去の実例から、発生確率が高いであろう山林火災を想定して実施した。今後も山林火災の特徴である煙に対する対応力を高める防災教育の必要性があると思われる。	

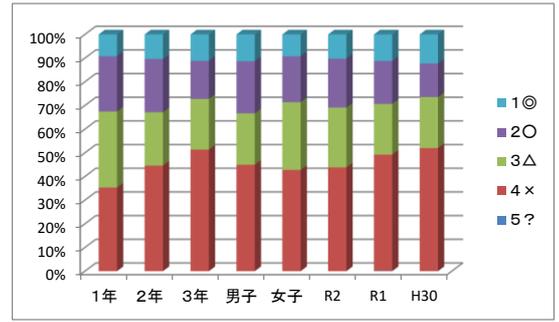
18 図書館

F総務

【生徒用】

18 自分は図書館で本を借りたり、読書や学習に利用したりしている。

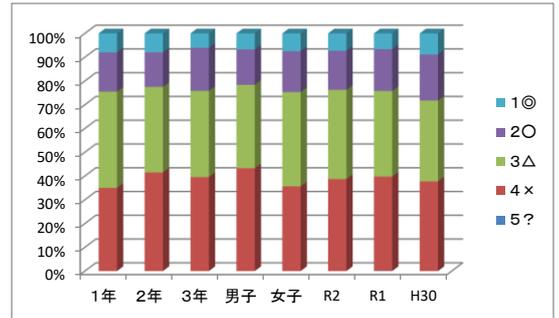
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2計	R1計	H30計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	9%	10%	11%	11%	9%	10%	11%	12%
2○	だいたい当てはまる	1	23%	23%	16%	22%	19%	21%	18%	14%
3△	あまり当てはまらない	-1	32%	23%	21%	22%	29%	25%	21%	22%
4×	当てはまらない	-2	35%	45%	51%	45%	43%	44%	49%	52%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	222	224	318	346	664	705	756
評価度 (-2~2)			-0.61	-0.68	-0.86	-0.67	-0.76	-0.72	-0.79	-0.87



【保護者用】

18 おおさんは、図書館で本を借りたり、読書や学習に利用したりしている。

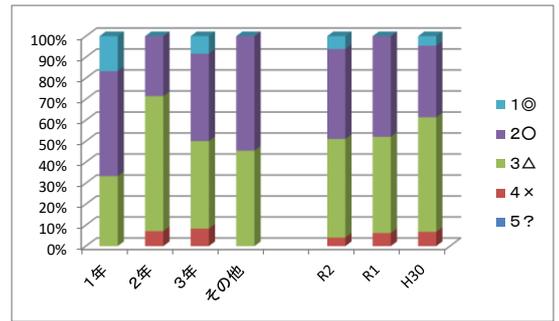
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2計	R1計	H30計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	8%	8%	6%	7%	8%	7%	7%	9%
2○	だいたい当てはまる	1	17%	15%	18%	15%	17%	16%	18%	19%
3△	あまり当てはまらない	-1	41%	36%	36%	35%	40%	38%	36%	34%
4×	当てはまらない	-2	35%	42%	40%	43%	36%	39%	40%	38%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			200	200	215	282	320	615	664	676
評価度 (-2~2)			-0.78	-0.89	-0.85	-0.93	-0.79	-0.84	-0.84	-0.72



【職員用】

18 生徒は、図書館で本を借りたり、読書や学習に利用したりしている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2計	R1計	H30計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	17%	0%	8%	0%		6%	0%	5%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	29%	42%	55%		43%	48%	34%
3△	あまり当てはまらない	-1	33%	64%	42%	45%		47%	46%	55%
4×	当てはまらない	-2	0%	7%	8%	0%		4%	6%	7%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	48	44
評価度 (-2~2)			0.50	-0.50	0.00	0.09		0.00	-0.10	-0.25



生徒用	今年度全体特徴	31%の生徒が図書館を利用している。
	年度間比較	1・2と回答している生徒が26%→29%→31%と少しずつ増えている。
	男女間比較	女子(28%)より男子(33%)の方が利用している生徒が多い。
	学年間比較	3年生の利用が若干少ない。(1年32%、2年33%、3年27%)
保護者用	今年度全体特徴	23%の保護者が生徒は利用していると認識している。
	年度間比較	1・2と回答している保護者が28%→25%→23%と減っている。
	男女間比較	大差はないが、女子の方が若干多い(男子22%、女子25%)
	学年間比較	大差はない。
職員用	今年度全体特徴	49%の職員が生徒は図書館を利用していると認識している。
	年度間比較	1・2と回答している職員が39%→48%→49%と増えている。
	学年間比較	1年生の利用が多いと認識している。(1年67%、2年29%、3年50%)
全体	低い水準であるが、1・2と回答している生徒、職員は少しずつ増えている。1年生はビブリオバトルや課題研究などで図書館を利用する機会が多くあった。その一方、例年進路関係資料の利用が多い3年生が少なかった。今年はコロナの影響もあり、3年生向けの図書館利用指導の時間を設けられなかったこと、図書館の閲覧席が対面、グループごとの着席になるため、授業での利用が控えられたことも影響していると考えられる。今後も授業や特別活動などで司書と教員が連携した図書館利用の取り組みを進めたい。	

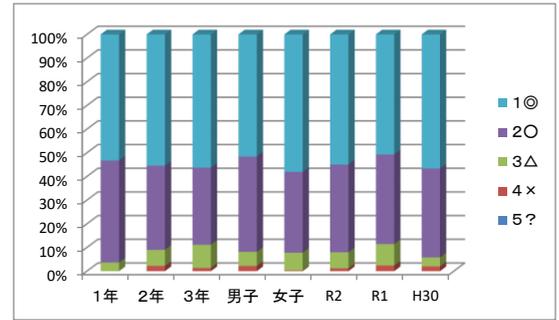
19 清掃活動等

D保厚

【生徒用】

19 清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしている。

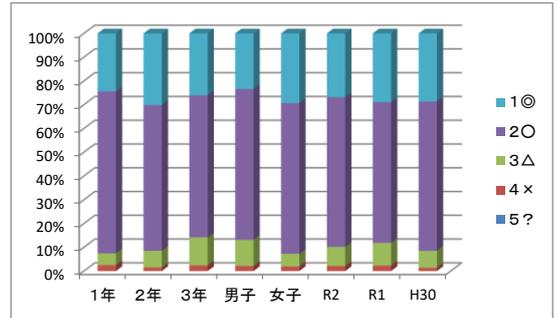
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	53%	55%	56%	52%	58%	55%	51%	57%
2○	だいたい当てはまる	1	43%	36%	33%	40%	34%	37%	38%	38%
3△	あまり当てはまらない	-1	4%	7%	10%	6%	8%	7%	9%	4%
4×	当てはまらない	-2	0%	2%	1%	2%	0%	1%	2%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	222	224	318	346	664	706	756
評価度 (-2~2)			→ 1.46	1.35	1.33	1.33	1.42	1.38	1.25	1.43



【保護者用】

19 お子さんは、清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしている。

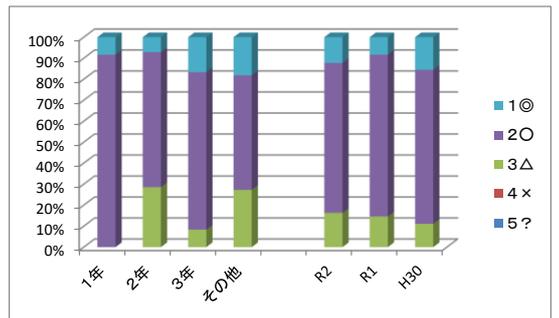
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	24%	30%	26%	23%	29%	27%	29%	29%
2○	だいたい当てはまる	1	68%	61%	60%	63%	63%	63%	59%	63%
3△	あまり当てはまらない	-1	5%	7%	12%	11%	5%	8%	10%	7%
4×	当てはまらない	-2	2%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			201	199	211	282	317	611	657	670
評価度 (-2~2)			→ 1.07	1.12	0.95	0.95	1.13	1.04	1.03	1.10



【職員用】

19 生徒は、清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	8%	7%	17%	18%		12%	8%	16%
2○	だいたい当てはまる	1	92%	64%	75%	55%		71%	77%	73%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	29%	8%	27%		16%	15%	11%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	48	45
評価度 (-2~2)			→ 1.08	0.50	1.00	0.64		0.80	0.79	0.93



生徒用	今年度全体特徴	清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしているという意識は全体的に上昇している。
	年度間比較	数値として昨年度より0.13のポイント増が見られる。
	男女間比較	男女間における大きな差異は見られない。
	学年間比較	1年生の◎、○が合計で96%であり高い事項肯定感が見られる。3年生男子の△が10%いる点気になる。
保護者用	今年度全体特徴	12月1日時点で在籍生徒数が683名であるが保護者回答数が611名で、回答率は89.4%である。
	年度間比較	この3年間で大きな保護者の意識の変化は見られない。
	男女間比較	3年生の保護者の数値が0.95と他学年と比較した際に低めである。
	学年間比較	男子生徒の保護者の数値が0.95と低めである。△が12%おり、次年度の課題と思われる。
職員	今年度全体特徴	学年間で教員による生徒への評価に大きな差が見られる。2学年が0.50であり、生徒と教師間の認識に差が見られる。
	年度間比較	この3年間で教員の評価は1.0を切っており、生徒との評価の数値に開きがある。
	学年間比較	教員の回答数は各学年大きな差はないが、2学年の教員は生徒が自分の役割を十分に果たしているとは考えていない。
全体	生徒達は清掃活動や自分の役割分担をきちんとこなしていると、前向きに捉えているが教師の評価とは乖離が見られる。保護者は学校における我が子の様子は見えないので、統一の評価規準がないと、認識に差が出る場合もありうる。1年生が自己の活動に肯定的であり、学年が上がっても数値が下がらないよう継続すると良い。	

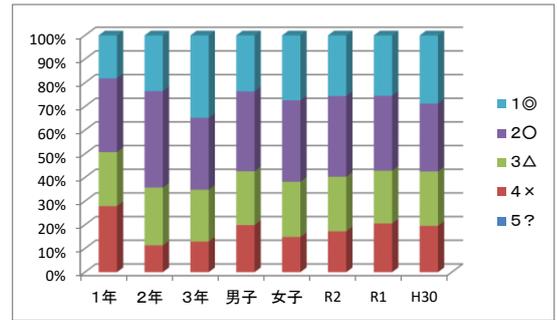
20 スクールカウンセリング

D保厚

【生徒用】

20 スクールカウンセリングの制度を知っている。

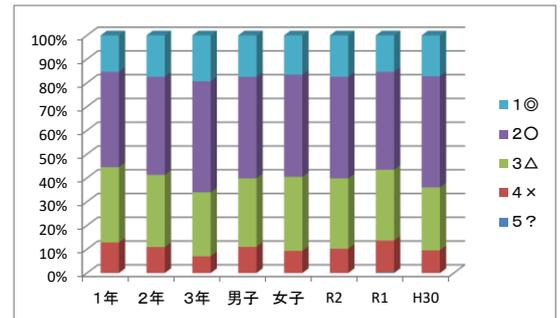
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	18%	24%	35%	24%	27%	26%	26%	29%
2○	だいたい当てはまる	1	31%	41%	30%	34%	34%	34%	32%	29%
3△	あまり当てはまらない	-1	23%	24%	22%	23%	23%	23%	22%	23%
4×	当てはまらない	-2	28%	11%	13%	20%	15%	17%	21%	20%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			215	221	224	317	343	660	705	757
評価度 (-2~2)			→ -0.11	0.41	0.52	0.19	0.36	0.28	0.19	0.24



【保護者用】

20 スクールカウンセリングの制度が保護者に伝えられている。

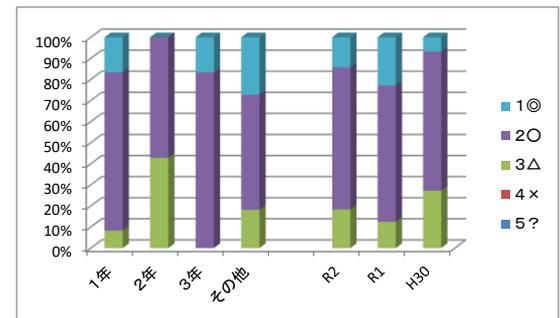
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	15%	17%	19%	17%	17%	17%	15%	17%
2○	だいたい当てはまる	1	40%	41%	47%	43%	43%	43%	41%	47%
3△	あまり当てはまらない	-1	32%	30%	27%	29%	31%	30%	30%	26%
4×	当てはまらない	-2	13%	11%	7%	11%	9%	10%	13%	10%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			202	201	212	281	321	615	658	669
評価度 (-2~2)			→ 0.13	0.24	0.44	0.27	0.26	0.27	0.15	0.36



【職員用】

20 生徒・保護者に、スクールカウンセリングの制度は浸透している。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	17%	0%	17%	27%		14%	23%	7%
2○	だいたい当てはまる	1	75%	57%	83%	55%		67%	65%	66%
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	43%	0%	18%		18%	13%	27%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	48	44
評価度 (-2~2)			→ 1.00	0.14	1.17	0.91		0.78	0.98	0.52



生徒用	今年度全体特徴	この3年間で微増ではあるが生徒へSCの制度は広まってきている。
	年度間比較	R1年度はSC制度について生徒への通知が十分ではないという回答が多く見られた。
	男女間比較	男女間では女子の方がSCの制度について認知している生徒が多く見られる。
	学年間比較	1年生にはSCの制度自体があまり伝わっていないことが数値にも表れており、改善を図る必要がある。
保護者用	今年度全体特徴	R1年度に比較して保護者はSCの制度について伝えられていると考えている。
	年度間比較	一番高いH31年度の数値で0.36なので学校便りだけでなく、一斉メールなど広く周知する方法を模索する必要がある。
	男女間比較	保護者は男女間に数値の差は見られない。
	学年間比較	学年が上がるにつれ、保護者間にSCの制度が認知されていく傾向が見られる。
職員	今年度全体特徴	H31年度より、生徒・保護者へSCの制度は浸透していると考えているようだ。
	年度間比較	R1年度より0.2ポイント下降している。
	学年間比較	2学年による評価が他学年と比較して、低い。今後改善と教育相談の仕組みについて共通認識を図る必要がある。
全体	昨年度より、同じスクールカウンセラーに来校し、生徒・保護者・教員の相談にあたってもらっている。昨年度よりカウンセリングの申込数は上昇していることから、学校におけるSCの必要性が伺える。学校や生徒の特徴に合わせて、SCの配置を今後してもらえればと考えている。また、教育相談においては、校内掲示や口頭での案内だけでなく、入学式や夏の三者面談でも広く生徒・保護者に伝えていくことが効果的であると思われる。	

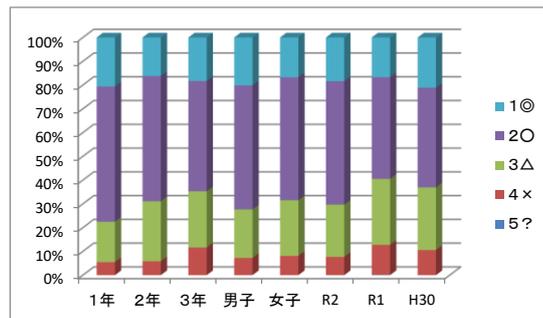
21 教育相談の体制

D保厚

【生徒用】

21 生徒にとって、教員やカウンセラーが必要なときに相談に応じてくれる体制ができている。

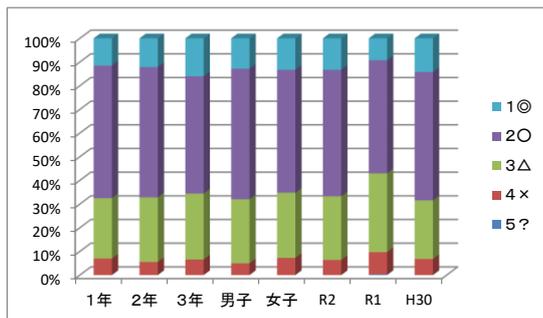
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	21%	16%	18%	20%	17%	18%	17%	21%
2○	だいたい当てはまる	1	57%	53%	46%	52%	52%	52%	43%	42%
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	25%	24%	20%	23%	22%	28%	26%
4×	当てはまらない	-2	6%	6%	12%	7%	8%	8%	13%	11%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			218	222	224	318	346	664	706	758
評価度 (-2~2)			→ 0.70	0.48	0.36	0.58	0.46	0.51	0.23	0.37



【保護者用】

21 生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。

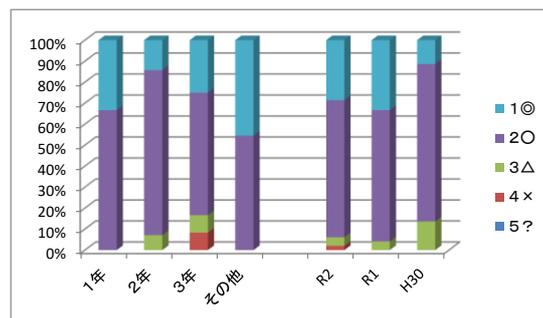
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	12%	12%	16%	13%	13%	13%	9%	14%
2○	だいたい当てはまる	1	56%	55%	50%	55%	52%	53%	48%	54%
3△	あまり当てはまらない	-1	26%	27%	28%	27%	28%	27%	33%	25%
4×	当てはまらない	-2	7%	6%	7%	5%	7%	6%	9%	7%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			200	198	212	281	316	610	661	675
評価度 (-2~2)			→ 0.40	0.41	0.41	0.44	0.36	0.40	0.14	0.44



【職員用】

21 生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	33%	14%	25%	45%		29%	33%	11%
2○	だいたい当てはまる	1	67%	79%	58%	55%		65%	63%	75%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	7%	8%	0%		4%	4%	14%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	8%	0%		2%	0%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	48	44
評価度 (-2~2)			→ 1.33	1.00	0.83	1.45		1.14	1.25	0.84



生徒用	今年度全体特徴	昨年度やや数値が下降したが、今年度回復しており、教育相談の体制についてある程度周知されている。
	年度間比較	教育相談の体制について生徒の評価は昨年の2倍以上の数値となっており、体制が整ってきていると考えられる。
	男女間比較	男女間に大きな差異は見られない。
	学年間比較	3学において×を選択した生徒が12%おり、必要時に相談できないと考えている生徒数が他学年より多く見られる。
保護者用	今年度全体特徴	数値では昨年度の0.14から0.40と上昇しており、68%の保護者が◎か○を選択している。
	年度間比較	保護者の評価は昨年度大きく下がったが、V字回復をしている。
	男女間比較	男女間の比較ではパーセンテージは変わらないが、評価度においては男子の方が高い。
	学年間比較	学年間に大きな差異は見られない。
職員	今年度全体特徴	概ね、教員やSCが相談に応じる体制ができていると考えている。
	年度間比較	H31年度に0.84だったが、その後2年は数値が上昇している。
	学年間比較	学年毎に数値に差があり、1学年が高い。3学年がなぜ教員が体制が整わないと考えるのか分析が必要と思われる。
全体	教育相談に関しては、生徒と保護者の評価が昨年度から回復している。様々な要因が考えられるが、保護者が安心して子供を通わせられるよう、教育相談に関しては、積極的な発信や、生徒が相談しやすい雰囲気作りを心掛ける必要があると思われる。	

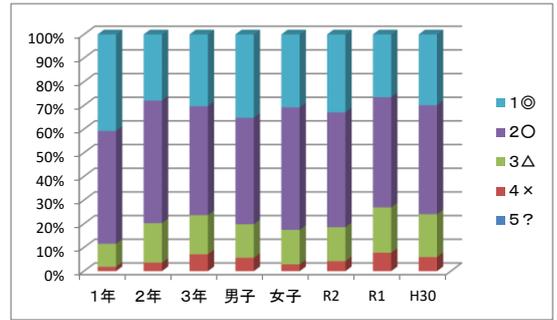
22 健康診断

D保厚

【生徒用】

22 健康診断等の結果は、自分の健康管理に生かされている。

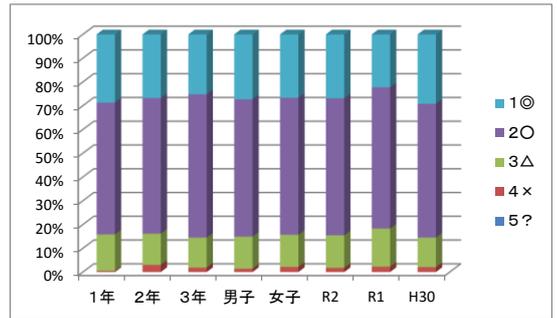
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	41%	28%	30%	35%	31%	33%	27%	30%
2○	だいたい当てはまる	1	48%	52%	46%	45%	52%	48%	47%	46%
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	17%	17%	14%	15%	14%	19%	18%
4×	当てはまらない	-2	2%	4%	7%	6%	3%	4%	8%	6%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			216	222	224	318	344	662	705	756
評価度 (-2~2)			→ 1.16	0.84	0.76	0.90	0.93	0.92	0.65	0.76



【保護者用】

22 健康診断等の結果は、お子さんの健康管理に生かされている。

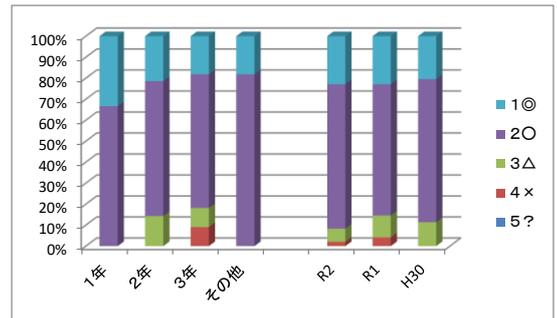
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	29%	27%	25%	27%	27%	27%	22%	29%
2○	だいたい当てはまる	1	55%	57%	60%	58%	58%	58%	59%	56%
3△	あまり当てはまらない	-1	15%	13%	13%	13%	13%	14%	16%	12%
4×	当てはまらない	-2	0%	3%	2%	1%	2%	2%	2%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			202	198	214	282	319	614	656	668
評価度 (-2~2)			→ 0.97	0.91	0.94	0.96	0.93	0.94	0.83	0.98



【職員用】

22 健康診断等の結果は、生徒の健康管理に生かされている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)				R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	33%	21%	18%	18%	23%	23%	20%
2○	だいたい当てはまる	1	67%	64%	64%	82%	69%	63%	68%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	14%	9%	0%	6%	10%	11%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	9%	0%	2%	4%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			12	14	11	11	48	48	44
評価度 (-2~2)			→ 1.33	0.93	0.73	1.18	1.04	0.90	0.98



生徒用	今年度全体特徴	保健室の負担と医師の感染予防の為にの労力を鑑みると数値だけを評価できるものではないと考える。
	年度間比較	新型コロナウイルス感染症対策の為に、健康診断実施は細心の注意のもと実施されており、数値だけで単純に比較はできないと考える。
	男女間比較	男女間に大きな差は見られない。
	学年間比較	学年間に開きが見られるが、通知後に健康管理に生かすかどうかは家庭と個人の意識と行動によると思われる。
保護者用	今年度全体特徴	養護教諭と医師らの感染予防への配慮や様々な工夫をし実施した。数値はやや上昇しただけなのが残念である。
	年度間比較	昨年度より数値は上昇している。検診の様子を保護者は見ていないので、単純比較はできないと考える。
	男女間比較	男女間に大きな差は見られない。
	学年間比較	学年間に大きな差は見られない。
職員	今年度全体特徴	昨年度より数値は上昇している。生徒の健康管理に生かされている・いないという判断の基準を明確しないと評価が困難。
	年度間比較	新型コロナウイルス感染症対策の為に、健康診断実施は細心の注意のもと実施されており、数値だけで単純に比較はできないと考える。
	学年間比較	昨年度より数値は上昇している。学年間で数値に開きがあり、評価理由を分析すれば次年度の改善点が見えると思われる。
全体	まずは、新型コロナウイルス感染症対策の為に、養護教諭や医師・看護師らの苦労は大変なものがあった。教員の協力のもと、生徒を廊下に並べ、健康診断を行っているが、医師への感謝の気持ちもなく、騒ぐ生徒の様子など、健康診断の意味から指導する必要があると思われる。医師の助言をもとに健康管理に生かすかどうかは家庭と生徒の意識によるものであり、学校で改善を図るのは簡単なことではないと思われる。	

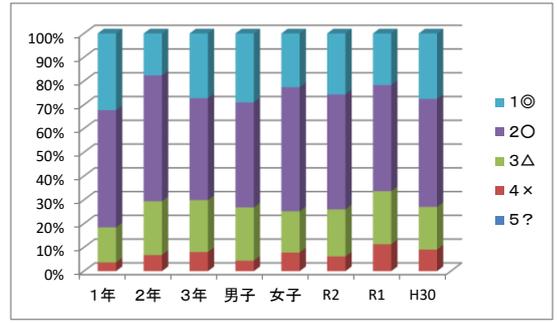
23 環境整備

D保厚

【生徒用】

23 校地内の環境整備・緑化等がなされており、学習環境が整っている。

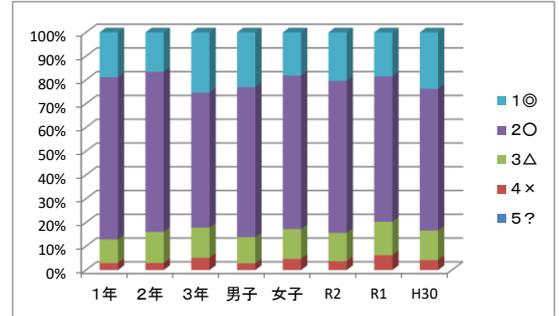
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	32%	18%	27%	29%	23%	26%	22%	28%	
2○	だいたい当てはまる	1	49%	53%	43%	44%	52%	48%	45%	45%	
3△	あまり当てはまらない	-1	15%	23%	22%	22%	17%	20%	22%	18%	
4×	当てはまらない	-2	4%	7%	8%	4%	8%	6%	11%	9%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			217	221	224	317	345	662	705	758	
評価度 (-2~2)			→	0.92	0.52	0.59	0.71	0.64	0.68	0.43	0.64



【保護者用】

23 校地内の環境整備・緑化等がなされており、学習環境が整っている。

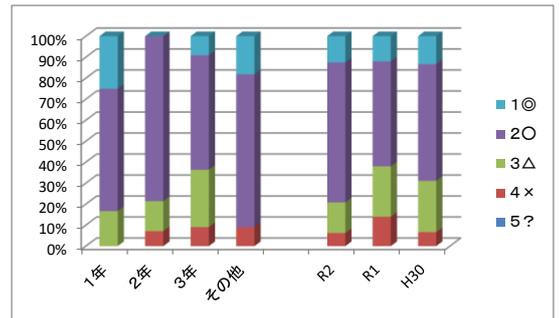
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	19%	17%	25%	23%	18%	20%	19%	24%	
2○	だいたい当てはまる	1	68%	67%	57%	63%	65%	64%	61%	60%	
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	13%	13%	11%	13%	12%	14%	12%	
4×	当てはまらない	-2	3%	3%	5%	3%	5%	4%	6%	4%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			202	199	213	282	319	614	659	666	
評価度 (-2~2)			→	0.90	0.81	0.85	0.93	0.79	0.85	0.72	0.86



【職員用】

23 校地内の環境整備・緑化等がなされており、学習環境が整っている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	25%	0%	9%	18%		13%	12%	13%	
2○	だいたい当てはまる	1	58%	79%	55%	73%		67%	50%	56%	
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	14%	27%	0%		15%	24%	24%	
4×	当てはまらない	-2	0%	7%	9%	9%		6%	14%	7%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			12	14	11	11		48	50	45	
評価度 (-2~2)			→	0.92	0.50	0.27	0.91		0.65	0.22	0.44



生徒用	今年度全体特徴	緑化活動ができず、花壇の整備ができない中、新入学生である1年生の評価が良かった。
	年度間比較	昨年度より、数値は上昇した。教員による消毒作業や環境整備が理解されたと思われる。
	男女間比較	男子の方がやや数値が高い。女子トイレの匂い・汚れ・清掃状況などが問題点と思われる。
	学年間比較	1学年の数値が高い。各教室がよく整備されていることが評価されたものと思われる。学校全体で共有できるのではないかと。
保護者用	今年度全体特徴	全体的に概ね満足していると言える。
	年度間比較	昨年度より、数値は上昇したが、保護者の来校する機会自体が例年より少ないので次年度以降、なお改善していきたい。
	男女間比較	男子の方がやや数値が高い。女子トイレの匂い・汚れ・清掃状況などが問題点と思われる。
	学年間比較	学年間に大きな差は見られない。
職員	今年度全体特徴	一概に比較はできないが昨年度よりおよそ3倍の数値になっており、引き続き環境整備に力を入れていきたい。
	年度間比較	昨年度と今年度は単純に比較できないが、環境整備が整っていない具体例を情報収集し改善を図る必要があると思われる。
	学年間比較	3学年間で大きな差があり、環境整備の不備の改善策など、アンケートなどを取り改善すべきことは改善を図りたい。
全体	今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の為、緑化活動は行うことができなかった。しかしながら、休校期間中より、保健厚生部では文科省の指導・助言だけでなく様々な情報収集と同時に学習環境整備にあたった1年である。環境整備においては、心身共に大変な作業であった。昨年度より、生徒・保護者・教員より高く評価されたことによって、報われたと感じたり、ご協力いただいた先生方に感謝をしたりしたいものである。	

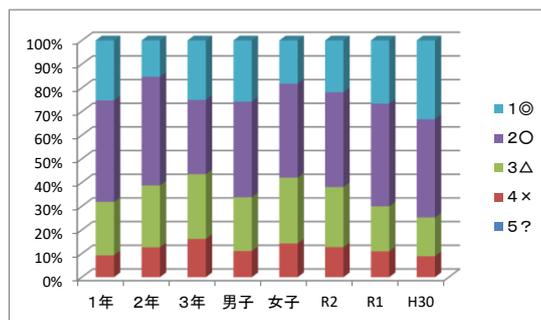
24 有意義な学校行事

F総務

【生徒用】

24 自分にとって、有意義な学校行事がある。

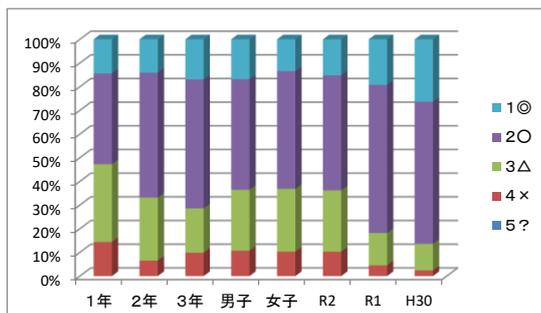
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	25%	15%	25%	26%	18%	22%	27%	33%
2○	だいたい当てはまる	1	43%	46%	31%	40%	40%	40%	43%	41%
3△	あまり当てはまらない	-1	23%	26%	27%	23%	28%	25%	19%	16%
4×	当てはまらない	-2	9%	13%	16%	11%	14%	13%	11%	9%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			217	222	223	317	345	662	705	757
評価度 (-2~2)			→ 0.53	0.25	0.22	0.47	0.20	0.33	0.56	0.74



【保護者用】

24 お子さんにとって、有意義な学校行事がある。

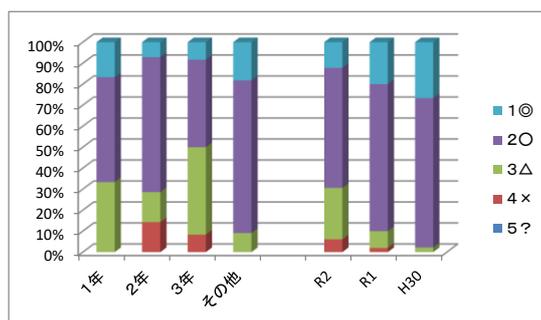
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	14%	14%	17%	17%	13%	15%	19%	26%
2○	だいたい当てはまる	1	38%	53%	54%	47%	50%	49%	63%	60%
3△	あまり当てはまらない	-1	33%	27%	19%	26%	27%	26%	14%	11%
4×	当てはまらない	-2	14%	7%	10%	11%	10%	10%	4%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			201	199	213	280	320	613	660	668
評価度 (-2~2)			→ 0.05	0.41	0.50	0.33	0.29	0.32	0.79	0.97



【職員用】

24 生徒にとって、有意義な学校行事がある。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	17%	7%	8%	18%		12%	20%	27%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	64%	42%	73%		57%	70%	71%
3△	あまり当てはまらない	-1	33%	14%	42%	9%		24%	8%	2%
4×	当てはまらない	-2	0%	14%	8%	0%		6%	2%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	50	45
評価度 (-2~2)			→ 0.50	0.36	0.00	1.00		0.45	0.98	1.22



生徒用	今年度全体特徴	62%の生徒が「有意義な学校行事がある」(1・2)と回答している。
	年度間比較	1・2と回答している生徒は昨年度より減少している。(74%→70%→62%)
	男女間比較	1・2と回答している生徒は男子の方が高い。(男子66%、女子58%)
	学年間比較	1・2と回答している生徒は3年生が低い。(1年68%、2年61%、3年56%)
保護者用	今年度全体特徴	64%の保護者が「有意義な学校行事がある」(1・2)と回答している。
	年度間比較	1・2と回答している保護者は昨年度より減少している。(86%→82%→64%)
	男女間比較	大差はない
	学年間比較	1・2と回答している生徒は1年生が低い。(1年52%、2年68%、3年71%)
職員	今年度全体特徴	91%の職員が「有意義な学校行事がある」(1・2)と回答している。
	年度間比較	大差はない
	学年間比較	1・2学年で若干「当てはまらない」と回答している。(2年14%、1年8%)
全体	今年度はコロナの影響により軒並み学校行事が削減された。しかし、教職員一同この状況下でできることを探し実施した結果、60%強の生徒・保護者が有意義な行事があるという回答をしている。例年よりはパーセンテージが低くなってしまったが、来年度もただ中止にするのではなく、何かできることを探し、学校行事によって生徒の成長を手助けしていきたい。	

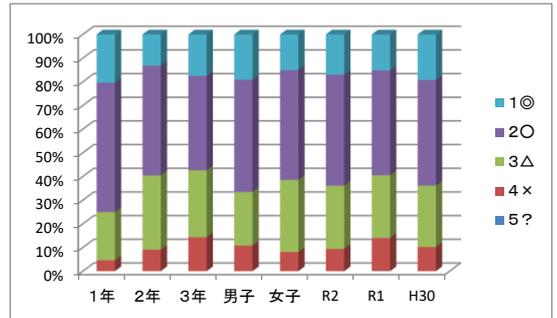
25 特色ある学校づくり

H全体

【生徒用】

25 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

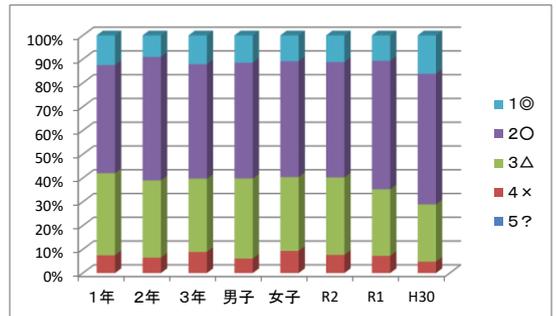
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	20%	13%	17%	19%	15%	17%	15%	19%	
2○	だいたい当てはまる	1	55%	46%	40%	47%	46%	47%	44%	45%	
3△	あまり当てはまらない	-1	20%	31%	28%	23%	30%	27%	26%	26%	
4×	当てはまらない	-2	5%	9%	14%	11%	8%	9%	14%	10%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			216	220	223	314	345	659	706	755	
評価度 (-2~2)			→	0.66	0.23	0.18	0.41	0.30	0.35	0.20	0.37



【保護者用】

25 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

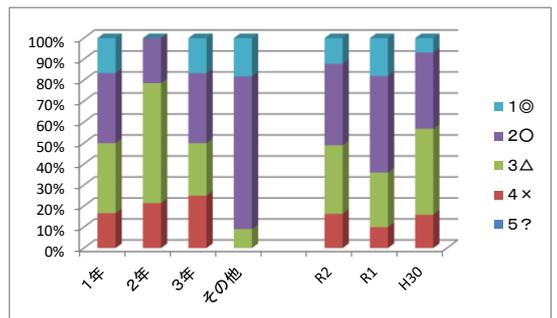
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	13%	9%	12%	11%	11%	11%	11%	16%	
2○	だいたい当てはまる	1	46%	52%	48%	49%	49%	49%	54%	55%	
3△	あまり当てはまらない	-1	35%	33%	31%	34%	31%	33%	28%	24%	
4×	当てはまらない	-2	8%	7%	9%	6%	9%	8%	7%	5%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			200	200	214	279	322	614	664	668	
評価度 (-2~2)			→	0.21	0.25	0.24	0.26	0.21	0.23	0.33	0.54



【職員用】

25 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	17%	0%	17%	18%		12%	18%	7%	
2○	だいたい当てはまる	1	33%	21%	33%	73%		39%	46%	36%	
3△	あまり当てはまらない	-1	33%	57%	25%	9%		33%	26%	41%	
4×	当てはまらない	-2	17%	21%	25%	0%		16%	10%	16%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			12	14	12	11		49	50	44	
評価度 (-2~2)			→	0.00	-0.79	-0.08	1.00		-0.02	0.36	-0.23



生徒用	今年度全体特徴	64%の生徒が「学校として特色ある学校づくりに取り組んでいる」と回答している。
	年度間比較	「学校として特色ある学校づくりに取り組んでいる」と回答している生徒は増加している。(64%→59%→64%)
	男女間比較	大差はない
	学年間比較	1学年の「特色ある学校づくりに取り組んでいる」と回答しているのが高い。(1年75%、2年59%、3年57%)
保護者用	今年度全体特徴	60%の保護者が「学校として特色ある学校づくりに取り組んでいる」と回答している。
	年度間比較	「学校として特色ある学校づくりに取り組んでいる」と回答している保護者は減少傾向である。(71%→65%→60%)
	男女間比較	大差はない。
	学年間比較	大差はない。
職員	今年度全体特徴	51%の教職員が「学校として特色ある学校づくりに取り組んでいる」と回答している。
	年度間比較	昨年度より「学校として特色ある学校づくりに取り組んでいる」と回答している教職員は減少している。(43%→64%→51%)
	学年間比較	1・2と回答している2年生の教職員が少ない。(1年50%、2年21%、3年50%)
全体	学校の特徴づくりに力を入れており、1学年(生徒・保護者)には、特進コースや台湾の修学旅行など、新しい試みは伝わってきているためか、特に1学年生徒の評価が高い(75%)。それでも学校全体にいわたるまでまだ至っていないように思われる。	

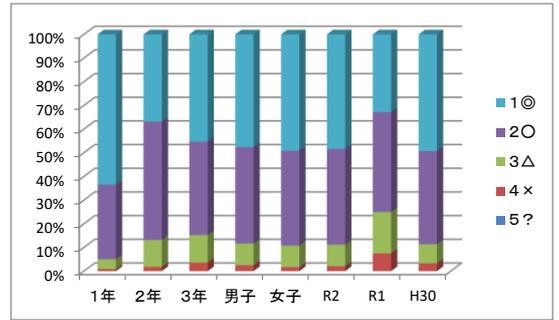
26 学校情報の保護者への伝達

H全体

【生徒用】

26 保護者に対して、一斉メールや学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。

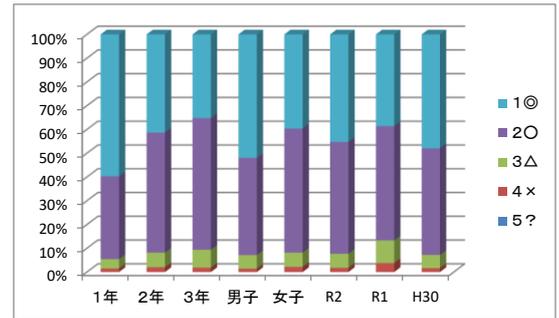
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	63%	37%	45%	48%	49%	48%	33%	49%
2○	だいたい当てはまる	1	31%	50%	39%	41%	40%	40%	42%	39%
3△	あまり当てはまらない	-1	4%	11%	12%	9%	9%	9%	17%	8%
4×	当てはまらない	-2	1%	2%	4%	3%	2%	2%	8%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			216	220	223	317	342	659	704	755
評価度 (-2~2)			→ 1.52	1.09	1.11	1.22	1.26	1.24	0.75	1.23



【保護者用】

26 保護者に対して、一斉メールや学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。

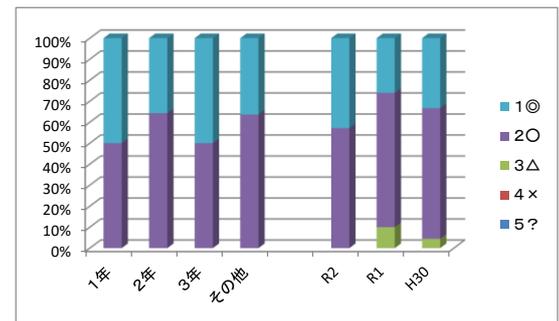
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	60%	41%	35%	52%	40%	45%	39%	48%
2○	だいたい当てはまる	1	35%	51%	55%	41%	52%	47%	48%	45%
3△	あまり当てはまらない	-1	4%	6%	8%	6%	6%	6%	10%	6%
4×	当てはまらない	-2	1%	2%	2%	1%	2%	2%	4%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			201	196	213	279	318	610	661	666
評価度 (-2~2)			→ 1.47	1.23	1.15	1.36	1.21	1.28	1.08	1.32



【職員用】

26 保護者に対して、一斉メールや学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	50%	36%	50%	36%		43%	26%	33%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	64%	50%	64%		57%	64%	62%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	0%	0%	0%		0%	10%	4%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	50	45
評価度 (-2~2)			→ 1.50	1.36	1.50	1.36		1.43	1.06	1.24



生徒用	今年度全体特徴	9割の生徒が1・2を回答した。
	年度間比較	昨年度より「よく当てはまる」が増加した。(33%→48%)
	男女間比較	大差ない。
	学年間比較	学年進行で否定的な回答が増加した。
保護者用	今年度全体特徴	9割の保護者が1・2を回答した。
	年度間比較	大差ない。
	男女間比較	大差ない。
	学年間比較	学年進行で否定的な回答が増加した。
職員	今年度全体特徴	すべての職員が1・2を回答した。
	年度間比較	「よく当てはまる」が増加した
	学年間比較	大差ない。
全体	昨年度よりも「よく当てはまる」が増加し、高い水準で評価されている。	

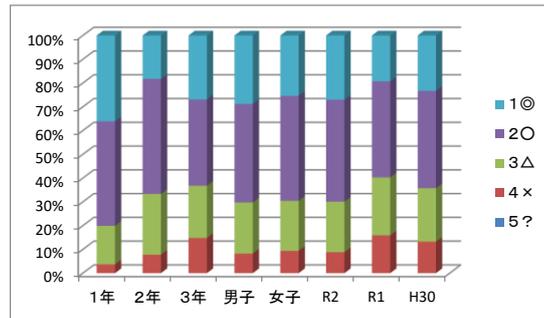
27 校舎やグラウンドなどの施設・設備の整備

G事務

【生徒用】

27 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。

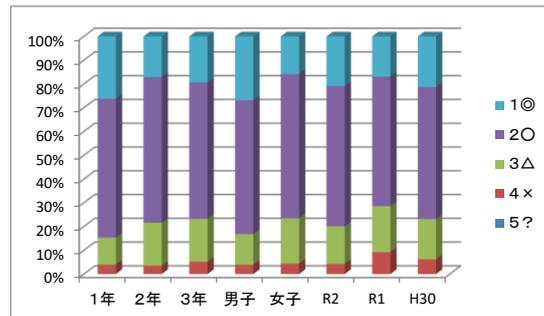
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	36%	18%	27%	29%	25%	27%	19%	23%	
2○	だいたい当てはまる	1	44%	48%	36%	41%	44%	43%	40%	41%	
3△	あまり当てはまらない	-1	16%	26%	22%	22%	21%	21%	24%	23%	
4×	当てはまらない	-2	4%	8%	15%	8%	9%	9%	16%	13%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			216	219	223	316	342	658	705	755	
評価度 (-2~2)			→	0.93	0.44	0.39	0.61	0.55	0.58	0.23	0.39



【保護者用】

27 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。

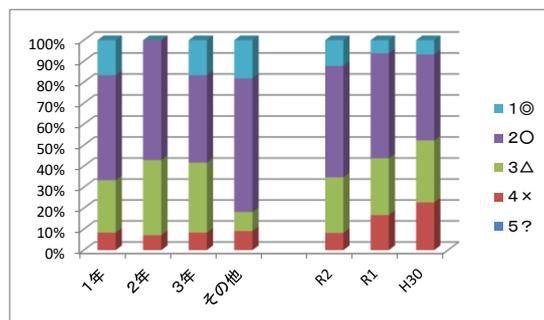
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	26%	17%	19%	27%	16%	21%	17%	21%	
2○	だいたい当てはまる	1	58%	61%	57%	56%	61%	59%	54%	55%	
3△	あまり当てはまらない	-1	11%	18%	18%	13%	19%	16%	19%	17%	
4×	当てはまらない	-2	4%	4%	5%	4%	4%	4%	9%	6%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			202	199	211	279	320	612	661	674	
評価度 (-2~2)			→	0.92	0.70	0.68	0.89	0.65	0.76	0.51	0.69



【職員用】

27 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	17%	0%	17%	18%		12%	6%	7%	
2○	だいたい当てはまる	1	50%	57%	42%	64%		53%	50%	41%	
3△	あまり当てはまらない	-1	25%	36%	33%	9%		27%	27%	30%	
4×	当てはまらない	-2	8%	7%	8%	9%		8%	17%	23%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			12	14	12	11		49	48	44	
評価度 (-2~2)			→	0.42	0.07	0.25	0.73		0.35	0.02	-0.20



生徒用	今年度全体特徴	前年度より0.35ポイント上がっている。生徒の70%が整備されていると回答している。
	年度間比較	昨年度より11%「当てはまる」が増加している。
	男女間比較	男子がやや高い。
	学年間比較	1学年の評価が高く、2・3学年は同じ程度の評価である。
保護者用	今年度全体特徴	前年度より0.25ポイント上がっている。保護者の80%が整備されていると回答している。
	年度間比較	昨年度より9%「当てはまる」が増加している。
	男女間比較	男子がやや高い。
	学年間比較	1学年の評価が高く、2・3学年は同じ程度の評価である。
職員	今年度全体特徴	前年度より0.33ポイント上がっている。職員の65%が整備されていると回答している。
	年度間比較	昨年度より9%「当てはまる」が増加している。
	学年間比較	1学年の評価が高く、2学年の評価が低い。
全体	生徒・保護者・職員全てにおいて、昨年度より評価が上がってきている。校舎及び設備の経年劣化が顕著ではあるが、生徒が安全かつ快適に過ごせるように補修等速やかに対応していきたい。	

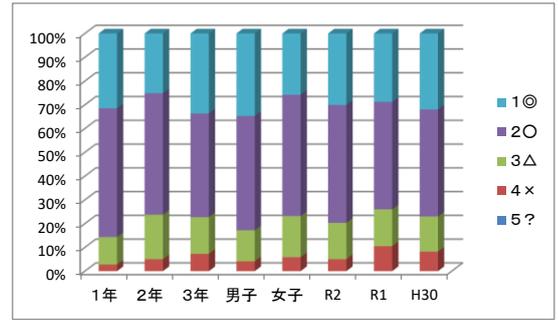
28 学校生活の充実度

H全体

【生徒用】

28 自分にとって、学校生活は充実している。

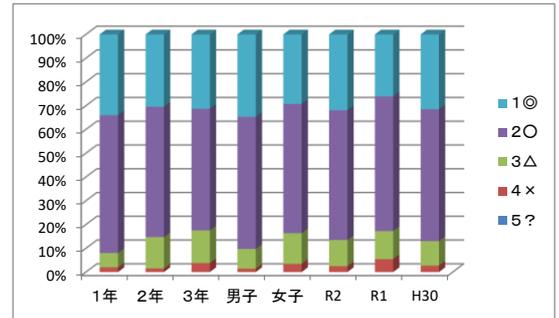
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	31%	25%	34%	35%	26%	30%	29%	32%
2○	だいたい当てはまる	1	54%	51%	44%	48%	51%	50%	45%	45%
3△	あまり当てはまらない	-1	12%	19%	15%	13%	17%	15%	16%	15%
4×	当てはまらない	-2	3%	5%	7%	4%	6%	5%	10%	8%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			216	219	220	314	341	655	688	744
評価度 (-2~2)			→ 1.00	0.73	0.81	0.96	0.74	0.84	0.66	0.78



【保護者用】

28 お子さんの学校生活は充実している。

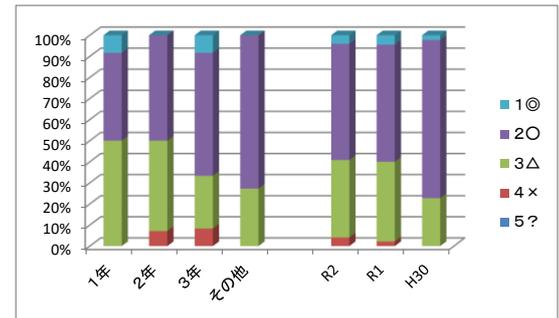
no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	34%	30%	31%	35%	29%	32%	26%	31%
2○	だいたい当てはまる	1	58%	55%	51%	56%	54%	55%	57%	56%
3△	あまり当てはまらない	-1	6%	13%	14%	8%	13%	11%	12%	10%
4×	当てはまらない	-2	2%	2%	4%	1%	3%	2%	5%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			200	197	211	277	318	608	660	661
評価度 (-2~2)			→ 1.16	0.99	0.92	1.14	0.93	1.02	0.86	1.03



【職員用】

28 生徒の学校生活は充実している。

no	選択肢	評価値	R2 (%)					R2 計	R1 計	H30 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	8%	0%	8%	0%		4%	4%	2%
2○	だいたい当てはまる	1	42%	50%	58%	73%		55%	56%	75%
3△	あまり当てはまらない	-1	50%	43%	25%	27%		37%	38%	23%
4×	当てはまらない	-2	0%	7%	8%	0%		4%	2%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			12	14	12	11		49	45	44
評価度 (-2~2)			→ 0.08	-0.07	0.33	0.45		0.18	0.22	0.57



生徒用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」で80%と概ね高評価である。
	年度間比較	一時的に落ち込んだ昨年度より改善し、「当てはまらない」が半減した。
	男女間比較	男子の評価度の方が高い。
	学年間比較	学年によりばらつきが見られるが、1年の評価度が高い。
保護者用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」で87%と高評価である。
	年度間比較	生徒同様に、一時的に落ち込んだ昨年度より改善した。
	男女間比較	男子の評価度の方が高い。
	学年間比較	低学年ほど評価が高い傾向にある。
職員用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」が少なく、4割強が否定的な評価である。
	年度間比較	一昨年から今年にかけて評価が急落した。
	学年間比較	全体的に評価度が低いですが、なかでも2学年は評価度が0を下回っている。
全体	生徒・保護者の評価は概ね高く、特に保護者の評価が高い。一方で教職員の評価は下がり続けており、生徒・保護者と教職員の認識の間にはずれが生じている。	